

2020 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 聖ヨハネ会

社会福祉法人聖ヨハネ会

基本理念

カトリックの精神に基づき、永遠の生命を有する人間性を尊重し、「病める人、苦しむ人、弱い立場の人」に奉仕します。

基本方針

1. 援助を必要とする人々をかけがえのない存在として関わり、人間の尊厳にふさわしい医療または福祉を追求しながら、共にいのちの質を高め合う全人格的な援助を行います。
2. 社会福祉の事業として、良質なサービスを提供し、公正に運営します。
3. 法令及び規程に則り、事業を運営します。
4. 地域社会に立脚した事業として、地域の福祉または医療に貢献します。

職員の心得

1. 私たちは法人の理念を理解し、その具体的な実現に努めます。
2. 私たちは自己の使命を認識し、その職能の専門性を十分に発揮するように努力し、各々が役割に応じた自己啓発に努めます。
3. 私たちは社会福祉事業である各施設を相互に理解のもとに、連携、協力に努めます。

活動の理念

病に苦しむ人、ハンディを負った人、自立の困難な人の隣人となって、援助の手を差しのべ、その必要に応じて最善を尽くします。

2020 年度事業報告

目 次

一	法人本部事業報告	2
二	事業経営	6
1	障害福祉部門	6
2	高齢福祉部門	26
3	医療部門	58
4	公益事業部門	70
5	収益事業部門	73
三	理事会	74
四	評議員会	77
五	経営会議	78

一 法人本部事業報告

【はじめに】

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大によって、東京では緊急事態宣言が二度発令されるなど、大きな制約がある年であった。病院事業をはじめ、高齢福祉部門、障害福祉部門、保育事業、公益事業を展開する当法人にとっては、事業運営上大きな打撃を受ける結果となった。と同時にこの感染症への対策は、法人全体として重要な事項となった。

利用者さんや職員への対策としては、検温の実施等体調管理を行い、手洗いの励行・手指の消毒・マスクの着用・こまめな換気を徹底した。また入所施設においては来園による対面での面会は制限させていただき、リモートによる面会へ切り替えた。食事や行事については、分散しての実施などいわゆる3密にならないよう工夫した。取引業者にも対面での商談等はできるだけ控え、電話やリモート面談にご協力をいただいた。法人内の会議や研修についても同様に、時間短縮しての開催やリモート開催を実行した。

また桜町病院においては発熱外来を設置し、感染症の疑いがある患者さんとそうでない方との導線を分けることでリスク低減を図った（詳細は桜町病院ホームページに記載）。年度末には小金井市のワクチン接種における拠点病院に指定され、ワクチンの保管管理、接種会場の検討、予約の受付方法等、シミュレーションにより確認することとなった。

このような対策を実行してきたが、事業としては病院への受診抑制やデイサービスなどの利用控え等は避けられず、収入は減少することとなった。一方で対策のための支出は平時よりも多くかかり、収支状況は悪化する結果となった。

そのような中、幸いにもこれまで法人内ではクラスターの発生はなく、職員が毎日の緊張した状態の中で懸命に頑張ってくれている賜物と捉えている。各施設や病院の利用を必要とされている方々には、安心してご利用いただきたいと切に願う。

まだまだ先が見えない状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願いつつ、対策を万全にし、利用される方や職員の安全対策を徹底して、滞りなく事業運営を進めていく所存である。

【事業報告】

- 1 理事会において、理事長及び業務執行理事の業務執行状況を報告した。(6月及び11月)
- 2 会計監査人による2020年度の会計監査を実施した。
- 3 所轄庁への現況報告書を整備した。また財務規律の強化として作成義務のある財務諸表等電子開示システムに関する各種データを作成し、社会福祉充実残額を算出した。
- 4 小金井市に共同生活援助／短期入所「緑町聖ヨハネケアビレッジ」を開設した。

5 法人機能の強化

(1)サービスの質の向上

- (ア) 定款によって定められた「運営協議会」の第七回を2020年7月に、第八回を2021年1月に開催した。利用者家族や民生委員から構成される協議会で、要望や意見を聴く機会となり今後のサービスに反映していくこととなった。

開催日：第七回 2020年7月27日(月) 10:30-11:30

第八回 2021年1月25日(月) 10:30-11:30

- (イ) 法人内の全事業所を対象とした研修会は実施できなかった。

(2)地域における公益的な取組の推進

- (ア) 関係団体(全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、小金井市社会福祉協議会等)が主催する連絡会等へ参加し、法人間の連携や広域的な取り組みに協力した。(開催はすべてリモート開催)

- 会議名：東京都社会福祉協議会医療部会

開催日：2020年5月、7月、9月、11月、12月、2021年1月、3月

- 会議名：全国福祉医療施設協議会

開催日：2020年10月、12月、2021年3月

- 会議名：東京都社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会

開催日：2020年4月、6月、7月、9月、11月、2021年1月、2月

- 会議名：日本社会事業大学講義(社会福祉事業の展開 低所得者を中心に)

講師：法人本部 竹川和宏

開催日：2021年1月15日

(3)信頼と協力を得るための情報発信

- (ア) 2020年度事業計画及び予算、2019年度事業報告及び決算を法人のホームページへ掲載した。また各事業活動、提供するサービスの内容、公益的な取り組みの実施状況等について、広報誌等を作成し利用者や家族、地域住民に発信した。

- (イ) コロナ禍における感染に関する取り組みや各施設の活動等を地域の町内会へ知っていただくための「聖ヨハネ会かわら版」を2020年8月より発行した。

(4)人材の確保に向けた取り組みの強化

- (ア) 魅力発信チームの活動

各職場の魅力や職員の活躍している状況等を法人内及びステークホルダー(利用者、家族、就業希望者、行政等)へ発信していくことを目的に、若手職員で

チームを組成し取り組んだ。

- メンバー：法人本部、桜町病院、桜町聖ヨハネホーム、桜町高齢者在宅サービスセンター、障害福祉部門東京事業所、障害福祉部門山梨事業所から代表者各1名
- 活動：法人の魅力を SNS で発信していくことを検討し、facebook を活用した取り組みを開始した。

(5)組織統治（ガバナンス）の確立

- (ア) 内部管理体制の基本方針に基づき、監事主導のもと外部機関の協力を得ながら、法人組織規程、在宅勤務規程、内部監査規程、法人本部組織規程を整備した。
- (イ) 会計及び給与管理において、脆弱性を解消するためのシステムのクラウド化を構築した。

6 事業運営に沿った規程類の整備について

各部門において給与規程、就業規則、組織規程、運営規程等について改訂した。

7 職員交流を目的としたレクリエーションは実施できなかった。

8 小金井訪問看護ステーション、聖ヨハネホスピスケア研究所、シニアハイムさくら及び障害福祉部門東京事業所の、会計業務及び事務業務をサポートした。

その他活動については、後述の経営会議の活動実績を参照されたい。

9 庶務・登記・監査事項等

1) 定款変更認可申請

●定款変更

- ① 2020年10月27日 一団地認定のための道路拡幅工事に伴う、土地の一部を小金井市へ寄贈

2) 登記

登記年月日	登記内容
2020年6月29日	資産の総額(5,765,423,422円) (2020年3月31日変更)

3) 指導監査等

実施年月日	内容	監査人等
2020年12月28日	社会福祉法人等指導監査 (富士聖ヨハネ学園) 書面による監査	山梨県福祉保健部福祉保健 総務課監査指導担当

4) 調査等

提出年月	提出内容	提出先
2020年5月	障害者雇用状況報告書	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
2020年6月	社会福祉法人調査票 現況報告書	東京都福祉保健局指導監査部指導 調整課指導調整係
2020年7月	事業報告書	独立行政法人 福祉医療機構

二 事業経営

1. 障害福祉部門

【 総 括 】

部門の方針及び事業について

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止とコロナ禍での事業継続に取り組んだ。万が一感染者が発生した場合、通所施設は閉所、グループホーム(以下GH)は隔離対応となり関係者等に多大な影響を与えるため、消毒・備品整備等の環境衛生対策や施設等への立ち入り及び会議のリモート化等の人流に留意しながら事業継続を図った。また、行政等からの補助金を活用して衛生資材等の確保に努めた。結果、幸いにもクラスター等の発生には至らず事業活動が営めた一年であった。

GH再編については令和3年3月1日小金井市に緑町聖ヨハネケアービレッジ(以下CV)を開設、その経過の中で中期経営計画に基づき山梨と東京の事業再編を進め、富士吉田CV城山ユニット及び小金井CV貫井北1・2ユニットを閉鎖した。今後も検討を進めていく。

課題である人材確保・定着や障害のある方々の重度化・高齢化及び強度行動障害者支援等に取り組んだ。人材については年々若年層の採用が厳しくなっているため、山梨と東京の連携のもと対策強化が必要となっている。重度化・高齢化対策の一環として富士聖ヨハネ学園にICT環境を整え、利用者の安全性向上と職員の業務効率化を図った。

財務状況について

障害福祉部門は、東京都民及び山梨県民向けの事業を行っており、事業内容も入所・通所施設から相談支援まで幅広い。性質上採算が見合わない事業もあるが、障害者支援における聖ヨハネ会の実践等を勘案すると、どの事業も必要不可欠であるとともに相互の協働・補完関係にあることから部門全体で取り組むことを指針としている。一昨年度一部事業について3か年における改善計画を作成し立て直しを進めているが、経営的には計画通り順調に推移している。

GH再編検討の過程で一部不採算事業について事業の組み換えによる閉鎖等の対応を図った。これにより一時的に多額の支出が発生することになったが、長期的に見れば人的・財務的に健全化へ進んだ。新規事業である緑町CVについては、3月1日に開所したが、次年度小金井市の動向で事業形態の変更が見込まれる状況であることから、財務的に見極める必要がある。

部門全体としては健全な財務状況を維持できているが、中長期の事業維持等を見据えて財務部門の強化を図っていきたい。

中期経営計画について

法人理念に則した経営のために、利用率の向上と利用者のニーズに合わせた支援体制の構築に取り組んだ。利用者支援では利用者の重度化・高齢化が進む中で、可能な限り地域での生活を継続していくための仕組みが必要である。部門として長年培ってきた支援とあきらめない指針を継続しつつ今後も取り組んでいきたい。2020年度はその第一歩として、GHの新規開設と一部閉鎖等を行い、利用者中心の支援が行える環境を整えた。

今期、中期経営計画の大きな柱として「事業と財務を融合させた中長期の事業見直し」「人材の確保と育成について」「地域公益活動」を掲げている。特に人材関連については年々厳しさが

増していることからさらなる強化を図る必要があるが、コロナ禍の影響で採用活動に滞りが出ている側面があるため、withコロナ・postコロナを見据えながら活動していきたい。

拠点区分名：富士聖ヨハネ学園

I 事業所名：富士聖ヨハネ学園
サービス区分名：施設入所支援事業・短期入所事業・生活介護事業

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2度)	利用率 (H31度)	利用率 (H30度)
生活介護 H31.4～	154人	135人	135人	87.6%	92.8%	92.2%
施設入所支援 H31.4～	122人	119人	120人	97.5%	98.3%	98.3%
短期入所 H31.4～	8人	—	5.5人	68.8%	68.8%	68.8%

平均年齢 52.1歳（最高 83歳、最低 22歳）

男女比率 70名（男子）：65名（女子） 52：48

平均在所期間 26.7年（最長 48.7年）

年間入所 5名 年間退所 3名（死亡） 2名（退所）

【職員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
園長	1		1							1		1
副園長	0		0							0		0
生活支援員	72	29	101	7	2	11	7	18	9	70	35	105
事務員	4		4							4		4
栄養士・ 調理員	7	8	15		1	4	1	4	2	7	10	17
設備等	2	5	7			1		1		2	5	7
医師		1	1								1	1
看護師	2	1	3	1		1	2	1	2	2	1	3
医療事務員		1	1								1	1
合計	88	45	133	8	3	17	10	24	13	86	53	139

*非正規職員については、拠点間異動を含むため合計数値が一致しない。

【施設運営状況】

学園では、令和2年度も引き続き年間を通して利用者の要望、相談、苦情を受け止めながら、こたえることのできるチーム、こたえることのできる職員(姿勢)であることを目標としていた。十分とは言えないが、第三者評価者では、昨年度より良い評価結果になってきている。

また、利用者さんの健康支援を模索しながら取り組んでいるが、各部署による連携の取り組みが、診療所の体制の構築とともに昨年度よりもしっかりとした連携が築かれたことで、「学園での支援のカタチ」ができあがってきている。

さらなる取り組みを進めるために職員の確保、育成は、大きな課題になっている。

【利用者支援状況】

学園では、年間を通して虐待防止・権利擁護に係る取り組みとともに、利用者さん日々の生活が豊かになるように取り組んでいる。

昨年度は、加齢による疾患により4名の利用者がお亡くなりになっている。学園では、利用者さんのターミナル期の大切な時間を支援するための連携と協働(支援員、看護師、管理栄養士、作業療法士、理学療法士等)に取り組んでいる。(人生を支えるために私たちにできることを模索している。)

【施設整備状況】

- ・自然災害等の影響を受けることの少ない1年だった。引き続き災害備え、緊急時に対応できる施設、事業の継続ができる施設になるように備えていきたい。
- ・敷地内の既存の建物の活用に取り組んでいるが、活用や処分(老朽化)の方向性を模索している。今後の事業の展開や日中活動の方向性を検討しながら整備に取り組みたい。

【教育研修】 施設支援事業部(富士聖ヨハネ学園)

日時	研修名	会場	出席者
4月1日	新任職員研修(学園)	富士聖ヨハネ学園	7名
4月23日	支援3課介護研修 リスク管理	富士聖ヨハネ学園	26名
7月14日17日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	5名
7月29日	サルコペニアと低栄養	オンライン研修	4名
8月7日	被災地から見えて防災地域づくり	富士東部保健所	1名
8月7日	支援3課介護研修 コミュニケーション	富士聖ヨハネ学園	26名
8月20日	ICT機器の理解	富士聖ヨハネ学園	20名
8月25日	アンガーマネジメント研修	富士聖ヨハネ学園	3名
9月1日2日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	1名
9月3日4日	サービス管理責任者基礎研修	南都留合同庁舎	1名
9月1日～30日	感染予防着脱研修	富士聖ヨハネ学園	97名
9月25日	サービス管理責任者基礎研修	青少年センター	1名
10月1日	東京都虐待防止研修 監督者	オンライン研修	1名
10月8日	東京都虐待防止研修 支援員	オンライン研修	1名

10月8日	山梨県虐待防止研修	ぴゅあ総合	3名
11月12日	支援3課介護研修 症状に学ぶ	富士聖ヨハネ学園	26名
11月12日	摂食嚥下リハビリテーション研修	オンライン研修	5名
11月12日	新型コロナウイルス感染症対策（東京都）	オンライン研修	20名
11月24日	新型コロナウイルス感染症（医師会主催）	オンライン研修	3名
11月27日	食べる機能もメカニズム研修	オンライン研修	3名
12月9日	職場のハラスメント	オンライン研修	1名
12月11日	食べる機能のメカニズムⅡ（障害）	オンライン研修	16名
12月21日	発達障害のある人の支援	オンライン研修	1名
12月23日	てんかん発作の理解	富士聖ヨハネ学園	16名
1月8日	食べる機能のメカニズムⅢ（高齢）	パシフィコ横浜	4名
1月16日	摂食嚥下（看護の基礎）	オンライン研修	1名
1月24日	新型コロナウイルス感染症 職員メンタル	オンライン研修	1名
3月8日	障害者支援の基礎講座	オンライン研修	60名

※その他学園全体において計38回の研修 延べ外部研修129名、園内研修 68名参加
（各課で企画し取り組んで研修は除く）
新型コロナウイルス感染予防からオンライン研修の頻度が増える

Ⅱ 事業所名 : 富士聖ヨハネ学園 診療所

【施設運営状況】

各嘱託医師からの協力を頂き医療的な支援の体制がほぼ構築できている。またこの1年で支援と医療相互の協働も進んできている。

（現況 内科医 T 週1回 精神科医 W 週1回 精神科医 F 月1回 消化器内科月1回）

【利用者支援状況】

- ・日々の健康観察等により利用者が適切な医療支援を受けることができるように取り組んだ。
健康診断は、年2回実施し、結果を伝えるとともにその後のフォローを行っている。
- ・リハビリテーション委員会及び摂食嚥下カンファレンスを再構築し支援課、食事サービス課等と連携して利用者の支援を行っている。
- ・感染症予防、薬の管理、吸引の対応、応急手当等の研修会を、看護師を講師として実施している。
- ・支援課からの利用者の健康管理及び外部受診にかかわる相談に対応している。
- ・利用者の入退院時の医療支援（医療情報の整理、共有）に取り組んでいる。

【施設整備状況】

- ・診療に必要な機器を、医師と相談しながら購入している。

拠点区分名：富士北麓聖ヨハネ支援センター

Ⅲ 事業所名	：富士北麓聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	：生活介護事業・就労継続支援B型事業・短期入所事業

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2度)	利用率 (R1度)	利用率 (H30度)
生活介護	35人	42人	32.6人	93.3%	90.0%	81.4%
就労継続支援B型	15人	9人	9.3人	62.1%	60.1%	56.5%
短期入所	3人	—	0.9人	32.9%	36.8%	48.7%

平均年齢 37.3歳（最高 66歳 最低 18歳）

男女比率 29名（男子）：22名（女子）

平均在所期間 3.8年（最長 7年）

年間入所 2名 年間退所 1名

【職員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	8	11	19	3		1	1	4	1	11	11	22
看護師	2	1	3							2	1	3
調理員		1	1								1	1
合計	12	13	24	3		1	1	4	1	15	13	28

【施設運営状況】

開設から7年目を迎え、生活介護の契約者数、利用率共に増えている。就労継続支援B型については、就労系事業所が圏域において飽和状態ということもあり、利用者増とはいかないが、懸案であった収支バランスは、3か年計画に沿って順調に改善が図られ、次年度は黒字予算の予定である。

強度行動障害の激しい方から、医療的ケアの必要な方まで多様な利用者が通って来ているが大きな事故、感染症発症もなく運営が来ている。

就労継続B型では、コロナ禍のため煎餅、かわらけの売り上げが減少しているが、事業所間の販売会開催、共同受注窓口との連携、新規受託事業の請負、Facebook開設による販路の拡大

等によって利用者工賃は昨年度並みに支払うことができている。

【利用者支援状況】

(生活介護)

- ・活動内容を多様化し、利用者が多様な活動に参加できるようにした。それにより活動が活性化していった。
- ・理学療法士によるリハビリテーションプログラムの作成を行い、看護師を中心として実践を行った。
- ・強度行動障害の激しい利用者さんも利用より1年が経ち、安定した生活が送れるようになっている。

(就労B)

- ・やまなし手作りマスクプロジェクト補助金交付を受けマスク製作を行った。
- ・各作業の手順の見直しをすることで作業の迅速化、正確化を図っている。

【施設整備状況】

- ・やまなし手作りマスクプロジェクト補助金交付によるミシン購入
- ・山梨県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金により、食堂テーブルにアクリルパーテーション設置及び空気清浄機購入
- ・就労継続支援事業所生産活動活性化事業補助金により、レーザー加工機、パソコン、電動シーラー、空気清浄機、缶バッジ加工機購入

【教育研修】 富士北麓支援事業部（富士北麓聖ヨハネ支援センター）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
9月3日/4日	相談支援者初任者研修	南都留合同庁舎	1名
9月25日	山梨県サービス管理責任者基礎研修	きぼうの家	1名
11月16日/17日	山梨県サービス管理責任者基礎研修	きぼうの家	1名
9月19日	強度行動障害事例研究会	富士聖ヨハネ学園	5名
12月1日/2日	強度行動障害支援者養成研修	山梨県立青少年センター	1名

<p>IV 事業所名</p> <p>サービス区分名</p>	<p>: 河口湖聖ヨハネケアビレッジ 明見聖ヨハネケアビレッジ 富士吉田聖ヨハネケアビレッジ</p> <p>: 共同生活援助（介護サービス包括型）</p>
--------------------------------------	---

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2度)	利用率 (R1度)	利用率 (H30度)
河口湖聖ヨハネ ケアビレッジ	10人	9人	8.9人	89.2%	89.4%	99.3%
明見聖ヨハネ ケアビレッジ	7人	7人	6人	86.4%	94.5%	99.6%

富士吉田聖ヨハネ ケアビレッジ	20人	11人	15.3人	76.9%	86.2%	-
--------------------	-----	-----	-------	-------	-------	---

平均年齢 53.3歳（最高 71歳、最低 30歳）

男女比率 13名（男性）：14名（女性）

平均在所期間 9.0年（最長 12年）

年間入所 0名 年間退所 7名

【職員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
生活指導員	1		1							1		1
サービス 管理責任者	2		2							2		2
生活支援員	6	14	20			1	1	1	1	6	14	20
合計	9	14	23			1	1	1	1	9	14	23

【施設運営状況】

- ・富士吉田聖ヨハネケアビレッジ城山ホームの年度末閉鎖に向けて、利用者の移動を行った。重症心身障害者を対象とした寿ホームを含め、障害支援区分の高い方が多い中で、大きな事故もなく運営することが出来た。
- ・第三者評価を初めて実施した。

【利用者支援状況】

- ・コロナ禍の中、外出等の制限を余儀なくされたことにより利用者が精神的に不安定なり、利用者間のトラブルが多く発生している。しかしながら感染する利用者もおらずに生活することはできている。

【施設整備状況】

- ・山梨県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金により、食堂テーブルにアクリルパーテーション設置及び空気清浄機、及び倉庫購入。

【教育研修】 富士北麓支援事業部（ケアビレッジ）

日時	研修名	会場	出席者
3月30日	第三者評価フィードバック研修会	富士聖ヨハネ学園	12名

V 事業所名 : さぼーとヨハネ
 サービス区分名 : 相談支援事業

【2020 年度利用状況報告】

登録者 248 名

【職 員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
相談支援 専門員	3	2	5							3	2	5
合計	4	2	6							4	2	6

【施設運営状況】

- ・山梨県「富士・東部圏域マネージャー」に1名出向
- ・富士北麓障害者基幹相談支援センター「ふじのわ」に1名出向
- ・職員1名が、山梨県相談支援従事者初任者研修を受講し、相談支援専門員に就任した
- ・富士聖ヨハネ学園入所利用者及び富士北麓地域に居住の方の計画相談契約者数が248件に達している。

【利用者支援状況】

- ・施設入所希望、短期入所希望のケースが多くあるが、対象事業所自体が少ないこと、及びコロナ禍により入所の制限があり、対応に苦慮している。
- ・薬物・アルコール依存症者の計画相談を常時30件昨年度より継続して行っている。

【施設整備状況】

- ・なし

【教育研修】 富士北麓支援事業部（相談支援）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
9/3.4	相談支援者初任者研修	南都留合同庁舎	1名
9/24.25 11/19.20	相談支援従事者初任者研修	富士吉田合同庁舎	1名
10/1.2 11/3.11	医療的ケア児コーディネーター研修	きぼうの家	1名
9/9	発達障害研修	オンライン	2名
1/29	知的障害と犯罪行為	オンライン	2名

拠点区分名：障害福祉部門 小金井

VI 事業所名 : 小金井聖ヨハネ支援センター
 サービス区分名 : 生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業
 就労定着支援事業

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)	利用率 (H30年度)
生活介護	25人	27人	20.0人	80.2%	74.5%	74.1%
就労移行	10人	7人	6.6人	66.0%	38.0%	70.4%
就労継続B型	25人	24人	20.4人	81.8%	77.3%	86.3%

平均年齢 生活介護 33歳 就労移行 28歳 就労継続B型 30歳 (最高65歳 最低19歳)
 男女比率 生活介護 18名:9名 就労移行 7名:0名 就労継続B型 14名:10名
 平均在所期間 生活介護 3.8年 就労移行 1.1年 就労継続B型 5.2年 (最長8年11か月)
 年間入所 9名 年間退所 1名

【職員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1		1					1		1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	7	19	26	3	1	4	2	7	3	9	21	30
事務員	2	1	3							2	1	3
栄養士・ 調理員	1	1	2							1	1	2
医師		1	1								1	1
看護師		3	3			1	1	1	1		3	3
合計	12	25	37	3	1	5	3	8	4	14	27	41

【施設運営状況】

2020年度は新型コロナウイルス対策に翻弄された1年となった。緊急事態宣言とともに利用者の通所自粛が相次いだ、長引く自粛の中での支援の必要性から在宅支援にも積極的に取り組ん

だ。2019年度には定員を54名から60名に増員したが、2020年度は生活介護事業で定員を超える利用契約となり、次年度以降は新規契約が難しい状況になった。就労移行支援は就職することで減員となり大幅な定員割れとなっていたが、積極的な実習生の受け入れや地域との連携を図り、コロナ禍での離職者等もあったことなどから2020年度は4名の受け入れを行った。就労支援B型では一時中断していたパン販売を12月に再開することができた。

【利用者支援状況】

生活介護は、新型コロナウイルス感染予防対策として手指消毒・体調管理と共に、密の状態にならないように散歩の時間を分散するなど、看護師や嘱託医師や会議などを通じ安心して通所できるような取り組みを行った。作業面では今までの室内作業（刺繍・ビーズアクセサリ等）だけではなく、楽しく過ごせるような活動（ぬり絵・貼り絵）の提供等個々に合わせた個別支援を可能な限り行った。また、散歩では体力維持が目的ではなく利用者の希望に沿った新しい場所やルートを職員それぞれが考え、楽しい活動となるような支援を行った。余暇活動については新型コロナウイルスにより活動の自粛や行事の縮小・中止があり、祝日の行事や企画等は沢山できなかったが、各職員がその時に出来る最大限のアイデアを出しあい利用者の皆さんに楽しんで頂けるような支援ができた。今後コロナ禍が続かなかで健康管理を第一に考えた作業や活動を提供しながらも、幅広い利用者さんの希望に沿った支援ができるよう、職員体制を整えていきたい。

就労移行支援の2020年度就労実績は1名、通常の利用期間を延長しての利用であったが、3年目に就職することができた。利用者へは、ビジネスマナーの習得、技術向上を目的として法人内の病院栄養科での実践的な作業実習を日々行うとともに、面接同行等の支援を行っている。

就労継続支援B型では、中断していたパン販売の再開を目指して環境整備等を行っていたが、2020年12月に再開することができた。利用者の活動拡大と地域への周知を進め、今後少しずつ拡大することを検討している。祝日には様々な余暇活動を設定したがコロナ禍の影響で中止になってしまい、その中でも日々の生きがいを提供する支援が出来ればと考えている。

[作業種類] パン作業以外は就労移行支援と共同で作業、ワークセンターとも連携している。

- 外作業：桜町病院での食器洗浄（栄養課・職員食堂）、桜町病院本部館のトイレ清掃、桜町高齢者在宅サービスセンターでの食器洗浄、小金井市内のアパート・駐車場の草刈り（他市も業務請負あり）、小金井市より受託（公園トイレ清掃、公園・砂場清掃）
- 室内作業：パン製造作業、パン販売作業、スウェーデン刺しゅう、小金井市より受託（リサイクル袋作り、凧作り）、内職作業（スマホケース業者・箱折り・封入等）
- その他：配食

【施設整備状況】

- ・厨房換気扇洗浄、厨房器具備品購入、エアコン洗浄

Ⅶ 事業所名 : 小金井聖ヨハネワークセンター
サービス区分名 : 就労継続支援B型事業

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)	利用率 (H30年度)
就労継続B型	20人	21人	17.6人	88.3%	77.1%	70.0%

平均年齢 44歳(最高 78歳 最低 27歳)

男女比率 14名(男子) : 7名(女子)

平均在所期間 4.7年(最長 8.7年)

年間入所 0名 年間退所 0名

【職 員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
所長	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	1	3	4							1	3	4
調理員		2	2								2	2
合計	3	5	8							3	5	8

【施設運営状況】

2020年度は、サービス管理責任者が交代、職員1名を新たに配置し、職員の育成と安定化に力を入れた。また、第三者評価を受審し強みや課題を分析することができた。その結果、職員のサービスの質の向上、運営力の向上に繋がった。

新規受け入れはなく、定員20名に対し現員21名。今後は定員増も視野に入れ、継続して地域との連携を強化し、新規利用者獲得に向け力を入れていきたい。サービス内容の変化として、本格的に開始された在宅支援を丁寧に行い利用者にあったサービスを提供したことが稼働率アップに繋がった。

利用者の仕事確保は、受注仕事の開拓など営業にも積極的に取り組み、取引先の確保や受注枠の拡大を行った。利用者の活動の幅を広げるため作業室の改装も行き、店舗として活用できるようにした。今後は更なる拡大を図り、利用者の仕事の厚みと工賃アップに繋げていきたい。

また、利用者意思決定支援、虐待防止、権利擁護、緊急時支援、事業継続計画などマニュアルの改正整備に取り組み支援力の強化と利用者支援に活かしていく。

【利用者支援状況】

- ・市内短時間アルバイト 読売センター小金井販売所
- ・内職業者より業務請負（株式会社エアージェイ）
- ・有限会社石井ホームサービス（不動産業）よりアパート清掃、草刈り作業請負
- ・一昨年度、小金井市内にある真明寺、貫井保育園と清掃契約を結び、継続中
- ・小金井市就労支援センターから依頼のあった東図書館壁面装飾の仕事を受け工賃に反映した。
- ・ワークセンターにて制作した日用雑貨品や作品の販売会参加（小金井市障害者週間イベント）にも力を入れ、利用者さんの地域参加、作業収入増に努めた。
- ・市内青果店から、制作している日用雑貨品の継続した注文があり、利用者の仕事と収入の安定に繋がっている。
- ・利用者就労支援 就労実績 0 名
→相談、連絡調整、職場訪問、アフターケア支援は継続して行った。

【施設整備状況】

- ・作業環境の整備
室内の内装工事（クロス張替え・床板張り）を行い、利用者さんが活躍できる場を作った。
新たな取り組みを行うための準備を進めた。

Ⅷ 事業所名	: 小金井聖ヨハネケアビレッジ（7ユニット）
サービス区分名	: 共同生活援助事業（介護サービス包括型）

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)	利用率 (H30年度)
本町1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町3	4人	3人	3人	75%	—	—
貫井北町	2人	1人	1.9人	96%	100%	100%
梶野町	7人	7人	7人	100%	100%	100%

平均年齢 51歳（最高 78歳、最低 27歳）

男女比率 19名（男性）： 8名（女性）

平均在所期間 10.6年（最長 17年）

年間入所 1名 年間退所 10名

2021年2月28日閉鎖

貫井北町1	3人	3人	3人	100%	100%	100%
貫井北町2	3人	3人	3人	100%	100%	100%

【職員】

	令和2年4月1日の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1	1	1			1	1	1		1
世話人 生活支援員	5	26	31	4	2	7	11	11	13	7	22	29
合計	7	26	33	5	3	7	11	12	14	9	22	31

【施設運営状況】

小金井聖ヨハネケアビレッジ（以下C V）本町・貫井北町・梶野町は定員を満たしての安定した運営、本町3は前年度中町→本町3へ転居後は定員4名のところ3名の入居者での運営であった。職員に関しては大きな変動なく利用者の安定にも繋がったように感じる。年度末の3月より緑町C V新規開所に伴い本町3利用者全員と本町・貫井利用者の一部が緑町C Vに入居。貫井利用者の一部が本町へ移動、また本町3と貫井へは在宅からの入居者を迎える事となり各事業所で引っ越しを行う。環境の変化への対応を迅速に行う。

利用者会議についてはコロナ禍で会議の開催もなく、毎年楽しみにしている恒例行事も出来ず。引き続き、感染症対策を徹底し利用者の健康を守ってゆく。

【利用者支援状況】

コロナ禍で緊急事態宣言も出る中、職員・利用者共にコロナ感染者が出なかったことに安堵。外部の職場や事業所での発症を受けPCR検査を行った利用者数名、熱発で検査を行った利用者も結果陰性で事なきを得る。職員には感染症対策の徹底を図り、利用者にも手洗い・うがい・アルコール消毒を行ってもらい、出来る限りマスクの着用もお願いし協力を得た。外部の行事や、内部の行事の自粛で窮屈な思いをしないよう職員で対応できることをしてきた。

年々、重度高齢化が進む中、課題は多いが元気で楽しい生活ができるよう支援をしている。昨年度同様、食事に関しては試行錯誤しながらの対応となった。歯が無く普通食が食べづらい人、消化機能低下とともに嚥下にも注意しての食事の工夫、検討を継続してゆく。

生活介護・就労継続B型通所の利用者はコンスタントに通所できているが、就労している利用者は一部出勤を制限して仕事をしている利用者、長期間在宅支援で仕事の無い利用者、仕事があっても時々しか出勤できていない利用者など様々である。就労している利用者の方がコロナの影響が大きく支援が必要となった。仕事の再開の目途が立たず、イライラして公共のトイレを破壊。器物破損で警察に事情聴取される。その後の利用者のフォローを行い同じことを繰り返さない様、支援を継続している。

【施設整備状況】

- ・テレビの受信不具合によりテレビアンテナの調整（本町）
- ・本町1階洗濯機、乾燥機の交換・・保護者からの寄付（本町）
- ・空気清浄機の購入・・善意銀行（本町）

IX 事業所名	: 緑町聖ヨハネケアビレッジ (2ユニット)
サービス区分名	: 共同生活援助事業 (日中サービス支援型)

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2度)	利用率 (R1度)	利用率 (H30度)
緑町1	9人	8人	8人	88.8%	—	—
緑町2	9人	7人	7人	77.7%	—	—

平均年齢 53歳（最高 63歳、最低 28歳）

男女比率 8名（男性） : 7名（女性）

平均在所期間 0.1年（最長 0.1年）

年間入所 15名 年間退所 0名

【職 員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者				1				1		1		1
サービス 管理責任者												
世話人 生活支援員				7		5		12		7	5	12
合計				8		5		13		8	5	13

【施設運営状況】

2021年3月開所。日中サービス支援型のグループホームで男性9名女性9名の定員。2021年4月入居予定の利用もあり、3月は全員揃わないまま運営スタートとなった。小金井の各事業所からの入居利用者と在宅からの入居利用者に加え、山梨事業所から移動してきた利用者で構成されている。

【利用者支援状況】

開所後1か月、まだ始まったばかりなので新しい職員と利用者との信頼関係の構築をし、安心して暮らせるよう努力してゆく。

【施設整備状況】

- ・新規開所に必要な器具備品等

X 事業所名 : 小金井聖ヨハネ短期入所
サービス区分名 : 短期入所事業

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)	利用率 (H30年度)
短期入所	4人	—	2.3人	57.5%	81.4%	61%

2020年度は、コロナ禍で一部制限を設けての短期入所受け入れとなる。緊急事態宣言中の新規利用者の受け入れに關しての面談、契約は自肅とした。契約済みの利用者に關しては、部屋の調整、食堂ではソーシャルディスタンスや時間差での食事体制とし、部屋以外では出来る限りマスクの装着をお願いする、退所後は部屋の消毒を行うなど感染症対策の徹底を行った。コロナ禍で自肅されていた利用者も一部おられたが、コロナ禍であるからこそ必要な利用者があるのも現実であると感じた。緊急対応で市外からの依頼あり、連絡翌日からの急な利用であったがPCR検査も済ませられていた為、迅速に対応する。コロナ禍であるが、今後も感染症対策を徹底しながら、短期入所を必要とする利用者の力になれるよう体制を整えてゆきたい。

X I 事業所名 : 緑町聖ヨハネ短期入所
サービス区分名 : 短期入所事業

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)	利用率 (H30年度)
短期入所	2人	—	0.0人	0.0%	—	—

2020度は、開所1カ月のため利用なし。次年度以降共同生活援助の安定的運営を図りながら積極的な受け入れを行っていききたい。

X II 事業所名 : ふらっとヨハネ
サービス区分名 : 相談支援事業

【2020年度利用状況報告】

登録者 151名

【施設運営状況】

2020年度は「聖ヨハネ会障害福祉部門東京事業所」の小金井地区と清瀬地区の各、事業所を利用されている方を中心に「サービス等利用計画」の作成とモニタリングを実施した。今年度は専従の相談員1名で毎月の様子伺い（モニタリング）をして報告書を作成した。

「コロナ禍」の状態の中なので本人と家族の対面での面談はできるだけ控えて、本人と支援員・相談員の三者で行い、家族（保護者）には電話や手紙での連絡と確認をしてモニタリングを行った。利用者によっては家族を含めた面談が必要な場合は感染予防に気をつけて行った。

【利用者支援状況】

「地域生活支援拠点事業」推進の昨今であるが今年度はそうした地域に住みながら以前からあまり福祉サービスを利用せず、「親子の力」で頑張ってきた方の相談が続いた。そうした方が年を重ね親子ともに福祉サービスの利用を始めたいという方の相談支援を行ってきた。特に高齢の親が突然の病気入院となり（こども：利用者）の生活支援を福祉サービスに繋げる。または将来の方向を親子・関係者で話し合い進めていくという相談支援が増えてきている。そのためには地域に根差している福祉サービス事業所との連携が非常に必要となってきた。ヨハネ会は高齢者の福祉サービスと障害福祉サービスがあり関係者会議を開いて親子の相談支援をスムーズに繋げる事が出来ているので安心であるが、今後増えていく相談に他の事業所と連携を重ねながら備えて行きたい。

【施設整備状況】

「計画相談・ほのぼのmoreシステム」導入による相談支援利用者全員の「サービス等計画の作成」と個人情報一元化して今後の相談支援に備えられるようになった。

教育研修 小金井支援事業部

日時	研修名	会場	出席者
4月1日	聖ヨハネ会障害福祉部門 採用時研修	小金井聖ヨハネ支援センター	2名
4月1日 ～18日	聖ヨハネ会障害福祉部門 新任研修	小金井聖ヨハネ支援センター他	2名
8月25日	新型コロナウイルスの理解と感染者への支援	戸塚記念館 及び リモート研修	40名
8月20日 ～31日	サービス管理責任者基礎研修【1～3日目抗議】	講義動画のオンライン研修	1名
10月1日 ～2日	サービス管理責任者基礎研修【4～5日目研修】	講義動画のオンライン研修う	1名
10月9日 ～29日	障害者グループホーム従事者基礎研修	講義動画のオンライン研修	1名
11月20日	精神障害者の「就労パスポート」ワークショップ	ハローワーク立川	1名
12月16日	精神障害者の「就労パスポート」ワークショップ	ハローワーク立川	1名
2月1日	聖ヨハネ会障害福祉部門 採用時研修	緑町聖ヨハネケアビレッジ	7名
2月22日 ・24日	虐待防止委員会 虐待防止・権利擁護研修	東京事業所管内各事業所 オンライン研修	81名
3月1日	食品衛生責任者養成講習会	ホテルエミンシア東京立川	1名
3月2日	精神障害者の地域生活を支える	講義動画のオンライン研修	2名

拠点区分名：障害福祉部門 清瀬

XⅢ 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	: 生活介護事業

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)	利用率 (H30年度)
生活介護	20人	23人	20.8人	104%	96.0%	94.7%

平均年齢 45歳（最高 67歳 最低 19歳）

男女比率 13名（男子）：10名（女子）

平均在所期間 6.2年（最長 7.5年）

年間入所 1名 年間退所 0名

【職 員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
施設長	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1	1	1			1	1	1		1
生活支援員	1	5	6	1		3	2	3	2	2	6	8
調理員		1	1								1	1
医師		1	1								1	1
看護師		1	1			2	1	2	1		2	2
合計	3	8	11	2	1	5	3	7	4	4	10	14

【施設運営状況】

2020年度は、在学中3年間センターで実習を行い、入所を強く希望されていた清瀬特別支援学校の卒業生が1名入所された。結果、年度末現員23名となり定員を3名超える利用となった。利用率も100%を超え、施設規模からもこれ以上の受け入れは困難な状況にある。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所内での感染症に関する研修実施や消毒等環境衛生等に努めたことなどで感染者等の発生はなかった。

【利用者支援状況】

2020年度は新型コロナウイルスの影響により外部機関が実施する行事等がほぼなくなったため、創作活動等を発表する場が持てなかった。センターの活動も緊急事態宣言や三密等に留意しながら行ったため、外部の社会資源を活用する機会が大幅に減った。その分施設内活動の充実を

図ったが補いきれず、年度後半は社会情勢を見極めながら少しずつ活動範囲を拡大した。利用者の中には適度に通所自粛される方もいたが概ね毎日通所された。基本的な活動のはがき作りと創作活動は継続しているため、事業所内活動には大きな変化はなかった。次年度はwithコロナ、postコロナを見据えているとアイデアを出し合いながら進めていきたい。

【施設整備状況】

- ・ノートパソコン
- ・作業室流し台、トイレ及び厨房水栓取替工事
- ・トイレ自動洗浄工事

XIV 事業所名	: 清瀬聖ヨハネケアビレッジ (4ユニット)
サービス区分名	: 共同生活援助事業 (介護サービス包括型)

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)	利用率 (H30度)
下清戸1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
下清戸2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
中清戸1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
中清戸2	7人	7人	7人	100%	100%	100%

平均年齢 48歳 (最高 67歳、最低 23歳)

男女比率 14 (男性) : 14名 (女性)

平均在所期間 8.6年 (最長 14年)

年間入所 0名 年間退所 0名

【職員】

	令和2年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	7	20	27	2	3	4	4	6	7	6	20	26
合計	9	20	29	2	3	4	4	6	7	8	20	28

【施設運営状況】

今年度は利用者の入退去はなく中清戸 14 名・下清戸 14 名の定員が満たされている状態での安定した運営であった。利用者の重度高齢化に伴い、リフト浴を導入。リフト使用の研修、職員の介護技術の向上、また感染症対策の研修などを行い利用者が安心、安全に暮らせるよう環境を整えている。

職員の確保は大きな課題。職員の確保をし、支援に滞りが生じないように職員採用への取り組みを引き続き優先課題として行う。

【利用者支援状況】

コロナ禍で緊急事態宣言も出る中、一名の利用者が家庭帰宅中にコロナ陽性と判明。他法人の日中活動先で発症者あり PCR 検査を行う。本人は無症状だった為、特に変わりなく過ごしていた。利用者熱発で検査を行った利用者は結果陰性で事なきを得る。職員には感染症対策の徹底を図り、利用者にも手洗い・うがい・アルコール消毒を行ってもらい、出来る限りマスクの着用もお願いし協力を得た。外部の行事や、内部の行事の自粛で窮屈な思いをしないよう職員で対応できることをしてきたが、移動支援自粛によりストレスが溜まり不安定になる利用者への支援は今後も課題となる。年々、重度高齢化が進む中、利用者の介護度も高くなり課題は多いが元気で楽しい生活ができるよう支援。発作中の転倒により歯が陥没・裂傷により縫合・火傷・骨折等々の事故が続いた事は反省点として次年度の支援体制の強化へ繋げてゆく。

【施設整備状況】

- ・1 階、2 階の食堂・廊下エアコン交換工事（下清戸）
- ・1 階トイレ扉の交換（下清戸）
- ・2 階トイレ壁紙張替・防水パネル（下清戸）
- ・洗濯機購入（下清戸）
- ・1 階風呂場にリフト導入（中清戸）
- ・洗濯機・乾燥機購入・・・保護者寄付（中清戸）

X V 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	: 短期入所事業

【2020 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (R2 年度)	利用率 (R1 年度)	利用率 (H30 度)
短期入所	2 人	—	0.2 人	10.1%	41%	11%

今年度は、コロナ禍で一部制限を設けての短期入所受け入れとなる。緊急事態宣言中の新規利用者の受け入れに関する面談、契約は自粛とした。契約済みの利用者に関しては、週末利用の利用者受け入れを引き続き行った。食堂ではソーシャルディスタンスや時間差での食事体制とし、部屋以外では出来る限りマスクの装着をお願いする、退所後は部屋の消毒を行うなど感染症対策の徹底を行った。男性は前年度と変わらず定期的に週末利用の利用者、女性に関しての利用は無かった。

今後は女性利用者の受け入れについても考え、コロナ禍ではあるが感染症対策を徹底しながら、短期入所を必要とする利用者の力になれるよう体制を整えてゆきたい。

教育研修 清瀬支援事業部

日時	研修名	会場	出席者
4月1日	聖ヨハネ会障害福祉部門 採用時研修	小金井聖ヨハネ支援センター	1名
8月25日	新型コロナウイルスの理解と感染者への支援	戸塚記念館 及び リモート研修	9名
8月20日 ～31日	サービス管理責任者基礎研修【1～3日目 抗議】	講義動画のオンライン研修	1名
10月1日 ～23日	障害者虐待防止・権利擁護研修	講義動画のオンライン研修	2名
10月9日 ～29日	障害者グループホーム従事者基礎研修	講義動画のオンライン研修	1名
10月29日 ～30日	サービス管理責任者基礎研修【4～5日 目研修】	講義動画のオンライン研修う	1名
11月28日 ～29日	防火・防災管理新規講習	東京消防庁立川都民防災教育センター	1名
11月8日 ～9日	防火・防災管理新規講習	東京消防庁立川都民防災教育センター	1名
12月1日 ～21日	障害者グループホーム従事者基礎研修	講義動画のオンライン研修	1名

2. 高齢福祉部門

I 桜町聖ヨハネホーム

(指定介護老人福祉施設・短期入所生活介護)

【2020年度 利用状況報告】

種別	定員	1日平均利用者数	利用率 (2020年度)	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)
介護老人福祉施設	106名	96.7名	91.3%	94.1%	91.7%
短期入所生活介護	8名	5.0名	62.6%	88.6%	67.0%

平均年齢 89.01歳 (最高104歳、最低61歳)

男女比率 17:85 (2021年3月31日現在:102名)

平均在所期間 3年9ヶ月 (最長20年11ヶ月)

年間入所 33名 (2019年度入所:17名・2018年度入所:24名・2017年度入所:20名)

年間退所 33名 (2019年度退所:15名・2018年度退所:26名・2017年度退所:22名)

【職員】

	2020年3月31日の職員数			年間退任・就任						2021年3月31日の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
施設長	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
医師	0	4	4	0	0	0	1	0	1	0	3	3
生活相談員	3	0	3	0	1	0	0	0	1	2	0	2
介護支援専門員	(3)	0	(3)	0	0	0	0	0	0	(3)	0	(3)
介護職員	34 (3)	17	51 (3)	2	4	0	2	2	6	32 (3)	15	47 (3)
看護職員	4	1	5	1	1	3	0	4	1	4	4	8
機能訓練指導員等	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	2	3
管理栄養士	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
調理員	5	7	12	0	0	0	0	0	0	5	7	12
事務職員	4	0	4	0	1	0	0	0	1	3	0	3
生活サポート	0	10	10	0	0	2	0	2	0	0	12	12
用務員	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	52 (3)	44	96 (3)	3	7	5	3	8	10	48 (3)	46	94 (3)

※上記表には管理宿直員含まず

※派遣職員 2021年3月31日現在 0名

【施設運営状況】

1. 財務状況について

(単位：千円)

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
当期資金収支差額	▲14,351	82,462	▲1,223	▲20,421	10,965
当期事業収支差額	▲28,559	▲31,022	▲54,565	▲50,371	▲2,636
人件費率	80.4%	80.4%	83.7%	81.3%	73.6%
修繕費	3,552	2,161	5,583	3,751	2,998
減価償却費	27,184	25,380	25,439	25,189	24,804

2020年度は資金収支会計で約1,435万円の赤字、事業活動収支会計は約2,856万円の単年度赤字の決算となった。

持続可能な特養ホームとして財務改善を最優先事項として改革を進めているが、今期は入所ご利用者の入院増及び入院の長期化と、定員の3割となる33名のご利用者のご逝去等による退所があった。さらに新型コロナウイルス感染症による影響等で短期入所（ショートステイ）の利用控えなどによる利用率低下で、例年以上に空床ベッドを埋めることが難しい状況にあった。そのため、収入は目標に大きく到達できなかった。（介護保険事業収益：前年比約1,455万円減収）

一方、支出については人件費、事業費、事務費の内容を分析した。

人件費は前年度より約1,713万円減少した。人材紹介料・派遣料などの派遣職員費が大きく削減（前年度比：約740万円減少）出来た。人件費率は収入減の影響もあり、80.4%と前年度の人件費率と変化がなかった。依然、人件費率は80%は超えており、前期同様、危険域を脱していない。介護職員・看護職員を確保しつつ人件費率を改善することは容易でないが、70%台を目指し、分析を進め、引き続き適正化に向け取り組まなければならない。

事業費支出については2019年度の7,258万円に対し、2020年度は6,808万円で約450万円の支出削減の結果となった。水道光熱費が約269万円減少して全館LED照明を導入することによっておりその効果がみられる。

事務費支出についても、各種の事務経費の見直しを進め前年度に比べて約439万円の支出削減をしている。

今期の減価償却費は2,718万円を計上した。設備機械の更新により増加傾向にあるように思われる。過去の推移は、2019年度2,538万円、2018年度2,544万円、2017年度2,519万円、2016年度2,480万円であり、これを完全にカバーできる財務状況にはまだ至っていない。

2. 入退所の動き

入所在籍の満床（106床）を目指すため、関係部署からの連携・協力により入所を促進し、2020年10月中旬に106名を達成できる状況が見られたが、ホーム内で新型コロナウイルス陽性の疑いのあるご利用者が出たため（抗原検査は陽性、PCR検査は陰性）、陽性疑いのリスクを優先して保健所指導に基づく対応を実施したことで、1か月程入所調整が進まない時期があった。この10月を起点としてご逝去による退所等が増えたことにより、新規の本入所調整進めるも在籍満床が果たせない状況となった。

2020年度の新入所者は33名で、退所者も33名であった。

新入所の動向は、桜町病院から2名、他施設・他病院から22名、在宅から9名であった。

退所者の動向は、施設内でご逝去が23名、桜町病院入院中でのご逝去が6名、桜町病院や他病院に長期入院となり医療が常時必要などの理由での退所者が4名であった。

利用率の安定に対する取り組みはここ数年、施設全体で積極的に展開し、33名と例年の約2倍の入所調整を実施するも、利用者様の超高齢化・重度化による体力低下など、33名の退所が出ることで利用率の安定化にはつながらなかったと思われる。

2020年度の平均利用人員は96.7人と、2019年度の99.7名より減少した。ご利用者の入院増加、ご利用者のご逝去、入所調整の一時停止等の影響もあり、114床のうち、1日平均12床の空床となった。緊急ショートステイをはじめとする短期入所による空床補填の取り組みを展開したが、状態を改善するには至らない状態であった。

【利用者支援状況】

【施設目標】 人生の完成に向かって歩まれている利用者様に

『大切にされていると思われるケア』を实践する。【サービス】

1. 職員一人一人が自分の役割を理解し、責任と誇りを持ちます。【人財育成】

● 感染症対策について

新型コロナ感染症の感染防止対策を徹底する一年であった。手指消毒の徹底、マスクの着用、出勤時等日々2回以上の検温と記録、不要な外出の自粛など、職員へ感染防止策の徹底を呼びかけ、感染者はゼロであった。

また、その他の感染症（ノロウイルスやインフルエンザ等）も発生しなかった。

● サービスについて

- ・新型コロナ感染防止対策のため、ボランティアの皆様による行事を行うことができなかつたため、職員がクリスマス会での楽器演奏や誕生日会などの取り組みを行い、ご利用者に楽しんでいただいた。
- ・利用者懇談会を月1回開催。ホームからのお知らせをお伝えするとともに、ご利用者からの要望や困り事を伺う機会を持った。
- ・お誕生日を迎えられるご利用者を祝し、毎月一回、お誕生日献立によりお祝い食を提供した。

2. 各係が連携し、組織性を高めます。【組織】

特にご利用者の生活を支える生活支援課の3係（介護係・医務係・生活相談係）は毎日朝礼後に必ず集まり、報告・連絡・相談を基本とした。コミュニケーションを徹底し、物事を進めていくなど、日常の情報共有を図り連携を強めた。

3. 安定した財務状況を進めます。【財務】

新型コロナ感染症の影響が少なからずある中で厳しい財務状況が続いているが、今後も更なる利用率の向上に取り組む必要がある。そのため、本入所の迅速化、及び入院中のベッドを空床にしないためのショートステイ利用者の確保策を強化する。

そして、介護報酬の新たな加算の取り組みを推進し、収入増を目指す。また、職員全体で取り組める支出削減策を打ち出し、支出額の圧縮を図っていくとともに、職員数の適正数を確保し、安定した組織運営を目指す必要がある。

4. 開かれた施設であり続けます。【サービス】

新型コロナウイルス感染症が収束した際は、専門学校や大学の実習を受け入れや近隣保育園との交流を推進する。また、中学校・高等学校のボランティア活動を積極的に受け入れる。

との方針であったが、2020年度は受け入れることができなかった。

2019年度までは、生活援助やサークル活動、喫茶やお茶席等団体活動32団体、延べ人数約900名。個人活動延べ約2,000名。年間活動合計延べ人数約2,900名の方々が施設に来ていただいていた。

広報媒体の一つであるホームページで、各種行事の様子などを都度アップし、視覚的にも大勢の人にホームの様子が分かる様に努めた。

【特記事項】

〔I〕 新型コロナウイルス感染症対策と各種助成事業について

2020年度は、ご利用者の安全と安心及び健康を守るため、新型コロナウイルス感染症防止対策をより一層推進した。外部から感染症を施設内に入れないために、1) 各種活動制限 2) 面会制限を継続した。

このため、玄関の交流スペース(リリー)は一時撤去し業者納品の備品置場として利用したり、パーティーで落ち着いたスペースをつくりお別れ会や安置室としての役割を持たせた。

面会制限が長期化しているので、ご家族との面会を毎日でも可能なようにWi-Fi環境を整え、タブレット端末の導入を行いオンライン面会を継続している。またWi-Fi環境が整備されたことで、職員のWebウェブ研修の受講や会議が可能となった。

感染症対策を一層進める目的で設備機械や介護備品を更新するとともに、感染症を防ぐために日々努力している職員に対し東京都より慰労金、小金井市より慰労品が支給された。

これらは、以下の助成事業を利用して実施された。

- 東京都(COVID-19)感染対策費助成事業 大型洗濯機・大型ガス乾燥機 交換
- 東京都(COVID-19)感染対策強化事業 環境整備 実施
- 東京都(COVID-19)緊急包括支援事業 慰労金 支給実施
- 小金井市新型コロナウイルス感染症対策介護事業所等慰労品事業 慰労品 支給実施

〔II〕 大規模修繕計画の進捗状況について

2020年度に入り、ホームの大規模修繕計画を具体的に進めた。

- 2020年5月20日 大規模修繕計画 起案
- 2020年5月より 大規模修繕計画 職員要望調査の実施
- 2020年5月より 大規模修繕計画 検討会開始
- 2020年12月 理事会にて「大規模修繕工事の実施」について決議される。

〔Ⅲ〕 緊急ショートステイの受け入れについて

ご利用者は女性8名、男性2名の計10名。延べ利用日数は133日であった。前年度の実績は、計15名、延べ利用日数199日であった。主な利用目的は介護者の急病・入院・冠婚葬祭・介護者からの不適切な介護・虐待などのほか、介護者の逝去（病死、自殺）が2件あるなど、例年に比較すると過酷な状況もあったと思われる。

在宅での老々介護の実態のほかに、コロナ禍中における様々な状況がご利用者の在宅生活にも影響を与えていたのかもしれない。

こうした状況に鑑み、緊急ショートステイでご利用者とそのご家族を救済することは大変有効な手段であり、今後も地域包括ケアの観点からも緊急ショートステイの必要性は大変高いと考えられる。

〔Ⅳ〕 入所ご利用者のADL状況について

＜2021年3月31日現在・単位（人）・62名調査＞

種類/区分	介助されていない	見守り	一部介助	全介助
食 事	7 (11.3)	34 (54.8)	10 (16.1)	11 (17.7)
上着着脱	6 (9.7)	7 (11.3)	31 (50.0)	18 (29.0)
ズボン着脱	4 (6.5)	2 (3.2)	11 (17.7)	45 (72.6)
排泄・排尿	6 (9.7)	6 (9.7)	23 (37.1)	27 (43.5)
排泄・排便	7 (11.3)	6 (9.7)	21 (33.9)	28 (45.2)
洗 身	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (27.4)	45 (72.6)
起 床	0 (0.0)	2 (3.2)	34 (54.8)	26 (41.9)
寝 返 り	5 (8.1)	0 (0.0)	34 (54.8)	23 (37.1)
立ち上がり	2 (3.2)	0 (0.0)	33 (53.2)	27 (43.5)
歩 行	5 (8.1)	0 (0.0)	10 (16.1)	47 (75.8)

※（ ）は構成比（%）

〔Ⅴ〕 入所ご利用者の要介護度の状況について（前年度末：比）

	《2020.3.31 現在》	《2021.3.31 現在》	前年同日比増減
	男 性	男 性	
要介護1	1名	1名	0名
要介護2	0名	0名	0名
要介護3	4名	3名	-1名
要介護4	1名	1名	0名
要介護5	10名	12名	+2名
合 計	16名	17名	+1名

	《2020. 3. 31 現在》	《2021. 3. 31 現在》	前年同日比増減
	女 性	女 性	
要介護 1	3 名	3 名	0 名
要介護 2	4 名	6 名	+2 名
要介護 3	9 名	10 名	+1 名
要介護 4	32 名	35 名	+3 名
要介護 5	35 名	31 名	-4 名
合 計	83 名	85 名	+2 名

【栄養部の取り組み 栄養管理係・総合給食係】

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりご利用者のホームでの活動が著しく制限され、ご家族との面会や外出・お散歩なども全面的に中止となる中で、栄養部として何が出来るかを検討した。その結果、ご利用者の健康面では栄養の充実を、生活面では食の楽しみを意識し食の提供とイベント等も企画・実施することが出来た。

栄養部全体の取り組みとしては、地域のご利用者の低栄養改善のため、摂食嚥下困難者の配食を継続し在宅生活を支援した。また多職種と連携し誤嚥性肺炎の予防、低栄養高リスク者の減少などADLの維持と向上に繋がるよう努力している。

- 総合給食係では、日々の安心・安全に留意し食事の提供ができるよう年間を通して実施した。
- 食の楽しみとして、行事食・郷土料理・デザートバイキングなど工夫し企画・実施ができた。
- 高齢福祉部門3施設は、食の提供に際して不測の事態が発生した場合でも栄養部の連携により、対応できる体制づくりが継続できている。
- ご利用者様の生の声を聴くために、満足度アンケートを実施し集計と分析を行い、日々の献立に反映させた。
- 栄養管理係では、ご利用者様の栄養状態を把握し、多職種と連携し食事面からサポートできる体制を継続した。総合給食係と連携し、食事形態の迅速な対応を実施した。
- 多職種と連携して取り組んでいる加算取得は継続し、取得することが出来た。

【施設整備状況】

- ・建設後35年を超え、ライフライン関連で高額な設備機械の更新や修繕費対応が近年続いているが、今後の建物と設備・機械の本格的な修繕・改修については、次年度に大規模修繕計画を実施し対応することとしている。それまでの期間は、緊急を要し、また安全に係る箇所以外の工事や修繕は見送ることを基本とし、今年度も緊急修繕については複数業者より見積書を取得し、価格についても出来る限りの値引き交渉や修繕内容の調整を実施した。
- ・新型コロナ感染症対策助成金を活用し、地下洗濯室の大型ガス乾燥機と大型全自動洗濯脱水機の交換工事を行った。
- ・介護用ベットは、老朽化し不具合が心配なベットを中心に年間複数台を更新しているが、今期も家族会寄付などを利用し整備した。4台購入し約80万円を支出した。

- ・修繕費については、ボイラー温水・冷房チラー・配水管等の日常点検を強化し、漏水など故障箇所の早期発見を努めている。また、職員にも不具合箇所の早期報告に協力してもらっている。今期の修繕費総額は約355万円で、前年度より修繕費支出は増加している。
(2019年度216万円・2018年度558万円・2017年度375万円・2016年度300万円・2015年度236万円・2014年度593万円・2013年度423万円)
- ・老朽化による排水ポンプ更新のため、全部で3基の交換を実施。
- ・予算時に計画的に優先順位をつけて予算化しているが、予期せぬ修理・更新も多くなってきており、対応に追われる状況は変わらない。

1. 主な固定資産取得（器具及び備品・車輛運搬具）

● 10/31	車椅子	139,000円
● 10/31	車椅子	139,000円
● 1/31	介護用電動ベッド1台（家族会寄付）	200,200円
● 1/31	介護用電動ベッド1台（家族会寄付）	200,200円
● 1/31	介護用電動ベッド1台（家族会寄付）	200,200円
● 2/28	大型洗濯機（コロナ助成金活用）	1,886,500円
● 2/28	大型ガス乾燥機（コロナ助成金活用）	943,250円
● 2/28	大型ガス乾燥機（コロナ助成金活用）	943,250円
● 3/31	大型洗濯機（コロナ助成金活用）	1,903,000円
● 3/31	介護用電動ベッド1台	203,500円
● 3/31	車椅子	128,500円

2. 主な修繕費支出

● 5/31	地下汚水雑排水ポンプ2基交換工事	740,850円
● 6/30	生ごみ処理機修理	118,800円
● 8/31	生ごみ処理機修理	75,900円
● 10/31	雨水ポンプ交換工事	275,550円
● 10/31	臥床式機械浴シャフトパッキング交換修理	78,892円
● 11/30	臥床式機械浴洗身台ストレッチャー修理	87,252円
● 12/31	アカシア10号室エアコンガスチャージ	77,000円
● 12/31	厨房機器スチームコンベクション修理	197,263円
● 1/31	個浴槽座面昇降リレーボックス交換修理	91,300円
● 2/26	Wi-Fi環境整備(オンライン面会等)	72,600円
● 2/28	地下洗濯室整備電気工事	264,000円
● 1/31	臥床式機械浴洗身台ストレッチャー修理	87,978円

3. リース資産 計上分

● 4/30	全館 LED 照明（大塚商会）	7,650,720円
● 4/30	全館 LED 照明（大塚商会）	1,912,680円

4. 労災状況等

- 2020年4月 介護職員：ご利用者が横になっている状態で、体の位置を動かそうとしたところ腰を痛める。
- 2020年5月 介護職員：デイルームにて、車椅子から急に立ち上がり歩き出そうとしたご利用者を急いで手を伸ばして支えようとしたところ、その腕をご利用者に引っ張られ、ねじれた状態のままご利用者がしゃがんでしまった。そのため腕の靭帯を痛める。
- 2020年12月 介護職員：オムツ交換中、ご利用者に無理に指をつかまれ曲げられたため、関節を痛める。
- 2021年2月 介護職員：トイレ介助中、車椅子への移乗の際、座り込むご利用者を支えようとした。中腰になったままの無理な体制での介助により腰と背中を痛める。

5. 研修参加状況

No.	研修名	主催	場所	日程	参加者
1	「コロナ発生前後で変わった葬儀・看取れなかった家族へのグリーフケア」～医療介護関係者はどう寄り添えばいいのか～	小金井市医師会	ZOOM	3/10	木野 藤川 田中
2	感染症対策研修	感染症対策委員会	施設ごと	6/1～ 6/30	全職員
3	令和2年度特定給食施設栄養管理講習会	東京都多摩府中保健所	東京都多摩府中保健所	10/14	西河
4	令和2年度集団指導	東京都福祉保健局	インターネット	1/8～ 2/12	小野園長
5	職場の生産性と働きがいを高める「時間の構造化理論」を学ぶ	東京都福祉人材センター研修室	Web配信	1/18～ 2/26	小野園長
6	信頼関係を深め、やる気を促す育成面談	東京都福祉人材センター研修室	Web配信	1/18～ 2/26	小野園長
7	介護サービス事業者支援研修	東京都国民健康保険団体連合会	Web配信	2/1～ 2/26	全職員
8	感情とストレスをマネジメントする～専門職として自己の感情と向き合う～	東社協	Web配信	2/15～ 3/15	谷村
9	高齢者の結核対策 ～コロナ禍における結核の平常時対策と発生時対応～	公益財団法人東京都結核予防会	ZOOM	3/22	藤川

II 桜町高齢者在宅サービスセンター

通所介護・訪問介護・訪問入浴介護・居宅介護支援・小金井市委託事業

栄養事業（給食・さくら配食）

小金井きた地域包括支援センター（小金井市委託事業・介護予防支援）

【2020年度利用状況報告】

種別	種別	定員	年間 延定員	延べ利用 者数	1日平均 利用者	利用率 (2020年)	利用率 (2019年)	利用率 (2018年)
介護保険事業	通所介護（ 一般・予防・総合 事業）	30名	9,700	7,506	24.5	77.4%	91.8%	96.9%
	通所介護(認知)	24名	7,368	4,564	14.9	61.9%	74.9%	69.1%
	訪問介護	100名/週	5,621	5,991	19.5	106.6%	97.0%	98.5%
	訪問入浴	5名/日	1,260	1,015	4.0	80.6%	96.4%	84.1%
	居宅介護支援	160件/月	1,920	1,971	164/月	102.7%	100.2%	103.9%
	予防・総合事業 プラン	300件/月	3,600	3,446	287/月	95.7%	97.6%	
栄養事業	給食	40食	12,280	10,235	33.3	83.4%	98.4%	99.5%
	配食サービス	68食	19,992	18,974	64.5	94.9%	96.5%	101.8%
市委託事業	やすらぎ支援	年間延派遣回数 77回 実利用者数 6名 支援員登録数 8名						

【利用者の動向】

通所介護・認知症通所介護の要介護度の状況

① 通所介護（一般・総合事業）

2020年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	161	911	656	2,836	1,657	749	302	234	7,506
割合	2.1%	12.1%	8.7%	37.9%	22.1%	10.0%	4.0%	3.1%	100.0%
2019年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	158	910	1,060	3,052	1,888	982	592	139	8,781
割合	1.8%	10.4%	12.1%	34.8%	21.5%	11.2%	6.7%	1.6%	100.0%

② 認知症対応型通所介護

2019年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	1,164	705	1,659	753	283	4,564
割合	0.0%	0.0%	25.5%	15.4%	36.4%	16.5%	6.2%	100.0%
2019年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	831	738	2,266	1,187	458	5,480
割合	0.0%	0.0%	15.2%	13.4%	41.3%	21.7%	8.4%	100.0%

【職員】

	2020年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2021年4月1日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1名		1名					0	0	1名		1名
事務長			0名					0	0			0名
介護員	2名	9名	11名		1	1		1	1	1名	10名	11名
相談員	10名	2名	12名	2	3		1	2	4	9名	1名	10名
看護師	1名	5名	6名							1名	5名	6名
介護支援専門員	4名	2名	6名			1	1	1	1	4名	2名	6名
訪問介護員		10名	10名			1	1	1	1		10名	10名
運転員		4名	4名					0	0		4名	4名
栄養士	2名	1名	3名					0	0	2名	1名	3名
調理・補助・宅配		5名	5名			1		1	0		6名	6名
機能訓練指導員		2名	2名					0	0		2名	2名
事務員		3名	3名				1	0	1		2名	2名
高齢住宅管理人		6名	6名					0	0		6名	6名
清掃員		2名	2名					0	0		2名	2名
合計	20名	51名	71名	2	4	4	4	6	8	18名	51名	69名

【施設運営状況】

(1) 財務について

2020年1月からの新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、通所介護事業では4月の緊急事態宣言発令以降利用控えや長期欠席が相次ぎ、4月・5月の平均利用率は60%程度まで低下した。その後も日々の感染者数の増加や第2、第3の緊急事態宣言により利用率は年間を通して低迷した。特に総合事業を中心とした介護度の低いご利用者様に利用控えの傾向が強く見られた。訪問介護事業や居宅介護支援事業については、感染症の影響は特に受けず、安定した利用実績を残すことができたが、桜町センター全体の収入は予算値288,415千円に対して実績値は277,012千円（執行率96.05%）であった。

支出面では、時間外労働の削減や事務費・事業費の削減に取り組み予算値286,475千円に対して実績値は278,788千円（執行率97.32%）となり支出削減はある程度効果的に行えた。

結果、2020年度桜町高齢者在宅サービスセンター事業全体の当期活動増減差額は9,131千円の赤字、当期資金収支差額は6,040千円の赤字となった。

収支が赤字化した主な原因は下記の通りである。

- ① 新型コロナウイルス感染症による利用控え（通所介護事業）
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響による新規利用依頼の低下（通所介護事業）
- ③ コロナ禍であっても安心・安全に利用してもらうための対応・アピール不足（通所介護事業）
- ④ 短期間での終結ケースが多く利用が安定しない訪問入浴事業

想像も出来なかった感染症の中で、職員は不安や恐怖感を抱きながらご利用者様のため、地域の方のために精一杯の努力を重ね、収支の赤字も最小限に留めることができたと思うが、今後も続くであろう感染症とどうやって共存し、事業を立て直していくかは大きな課題である。また、多様な事業を抱える桜町センターにおいて、どこに力を入れ、どこを縮小していくべきかを見極め、実行していく必要を感じている。

(2) 組織力向上・人材育成への取り組み

高齢福祉部門の組織力向上について経営会議・部長会議・運営会議・職員会議を中心に取り組んできた。桜町センターだけを見てもまだまだ課題は多く、係間や職員間の組織的なコミュニケーション不足が大きな課題となっている。今後も職員が同じ方向を向いて主体的性をもって課題に取り組むことのできる関係づくり・人材の育成を目指したい。

- 1) 部長による職員面談の実施
- 2) 係長による職員面談の実施
- 3) 栄養部の今後の事業方針の検討
- 4) 2021年4月の介護報酬改定に向けた検討
- 5) フィットニングサポートの継続的实施
- 6) 小金井市介護事業者連絡会への参加
- 7) 永年勤続表彰の実施
- 8) 経理業務の法人本部統合への動き
- 9) 給与（総務）業務の法人本部統合についての話し合い
- 10) 「魅力発信チーム」による法人 facebook の運用（法人内連携）
- 11) サブスタッフの受入れ
- 12) 地域との共生（援農活動への参加）
- 13) 館内 Wi-Fi 環境の整備
- 14) 障がい部門（東京）と食器洗浄委託の契約更新を行う。（法人内連携）

(3) サービスへの取り組み

※【利用者支援状況で取り上げ】

【利用者支援状況】

(1) リスクマネジメント

1) 破損事故発生事例

- ・2020年11月：ご利用者様の口腔ケア中に義歯を破損（認知症対応型通所介護）
- ・2021年2月：ご利用者様宅の調理器具の破損（訪問介護）

※いずれも代金を弁償

2) ヒヤリハット

通所介護係では、2020年度も年間を通してヒヤリハット事例を報告し、ミーティング内で事例の共有・改善策を話し合ってきた。2020年度に事例として挙げたヒヤリハットの分類と件数は下記の通りである。

- ・送迎（20件）
- ・入浴（2件）
- ・転倒・移動（18件）
- ・服薬（7件）
- ・食事（10件）
- ・物品返却忘れ（5件）
- ・他（22件）

事例の共有・改善策の実施は、事故や苦情を未然に防いでいると考えられる。また、職員の責任感や緊張感をもった対応にもつながっている。

3) 苦情

2020年度はコロナ禍を理由にサービス・業務向上委員会は機能的に活動できなかった。
また年1回の第三者サービス評価会議も中止となった。

各事業で挙げた要望や小さな苦情については、各事業のミーティングで取り上げ、情報共有や対応の検討を実施した。

4) 新型コロナウイルス感染症について

① 施設としての対応

A 第1回緊急事態宣言時(4月)

- ・ご利用者様受入れの際の感染症予防対策の実施(～現在)
- ・職員健康管理の徹底(～現在)
- ・職員が感染した場合、濃厚接触者となった場合の労務の取り決め(～現在)
- ・入館者制限(～現在)
- ・ボランティアの受け入れ中止(～6月)
- ・職員の施設間往来の原則禁止(～6月)

B 第2回緊急事態宣言時(1月)

- ・ボランティアの受け入れ中止(～3月)
- ・新型コロナウイルス感染症マニュアルの作成

② ご利用者様・職員感染状況

A 利用者

- ・4/24 通所介護利用者が、自宅で発熱・倦怠感・息苦しさ・味覚異常の症状を発症、救急車で武蔵野日赤にてPCR検査を実施。4/27 陰性との検査結果が判明。

B 職員

- ・9月介護職員M氏の娘さんに39度台の発熱があり発熱外来を受診。濃厚接触者として職員もPCR検査を受け、娘さんともに陰性との検査結果が出る。

③ 新型コロナウイルスにとまなう事業所支援について

A 小金井市新型コロナウイルス感染症介護事業所等慰労品の進呈

- ・職員71名に対して、5千円分の商品券が支給される。

B 小金井市新型コロナウイルス感染症対策介護事業所等運営補助金の交付

- ・桜町センター対象事業全体で90万円の補助金があり、桜町センター土地借地料の一部として使用。

C 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(国)

- ・介護慰労金事業

慰労金として職員64名に5万円ずつ、計320万円が支給される。

- ・介護サービス支援事業・環境整備への助成事業

桜町センター対象事業全体で386万1千円の助成があり、業務用洗濯機・給湯器・エアコン・電動自転車・衛生品の購入、Wi-Fi環境の整備に活用。

(2) サービスへの取り組み

施設重点取組事項

1) 通所介護・受託事業係

① 予防・一般型通所介護、総合事業通所型サービス

- ・新型コロナウイルス感染症に振り回された1年であった。緊急事態宣言や日々の感染者数によりご利用者様の利用控え(特に介護の低い方にその傾向が大きく見られた)が頻発した。
- ・様々な感染症予防対策を講じて利用の促しや新規利用者獲得を試みたが、利用者数

が多くなれば密が出来るといった悪循環もあった。

- ・一般型通所介護の売りでもあった「イベントボランティア」「活動ボランティア」は受入れ中止やは制限を掛けたことにより、日々の活動内容に苦慮することが多くあったが、コロナ禍での活動を確立することはなかなか出来なかった。
- ・上記理由等により。利用率目標 95%に対し、年間の平均利用率は 77・4%と低迷し、収入目標に対しても大きく下回った。
- ・職員自ら考え行動できる職員と指示がなければ何もできない職員との差が目立ち、自主的に行動できる人材育成の難しさを痛感しており、今後の大きな課題である。
- ・また来たいと思ってもらえるサービス提供は実施出来ていたと考えている。
- ・いつまで続くか分からないコロナ禍であっても、安心して利用してもらえる感染予防対策や魅力ある活動やプログラムの提供により、利用率を早急に回復していきたい。

② 認知症対応型通所介護

- ・昨年 4 月の緊急事態宣言時には、利用を手控えるご利用者様も数人みられたが、年間を通して利用控えが事業に大きく影響することはなかったが、新規のご利用者様が 2019 年度の 36 名から 2020 年度は 14 名と大きく低下した。生活相談員の交代等の理由もあったが、新型コロナウイルスの影響により、新規に利用しようとする方が少なかったと考えられる。
- ・利用率目標 75%に対し、年間の平均利用率は 61.9%と低迷し、収入目標に対しても大きく下回った。
- ・認知症対応型通所介護として一般型通所介護とは違うアピールポイントの構築は、以前からの課題となっているがなかなか着手できていない。コロナ禍の状況を考えると難しい面もあるが、今後利用率を回復していくためにはこの課題克服は急務である。

③ 地域支援事業（小金井市受託事業）

<やすらぎ支援事業>

2020 年度末現在 8 名のやすらぎ支援員が登録しており、うち 5 名が訪問活動中である。現在 6 名のご利用者様が事業を利用されており、訪問開始から 7 年が経過するご利用者様もいる。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中の派遣は中止とし、代わりに電話による傾聴を実施した。また支援員とは、担当職員が電話を通じてご利用者様の状況確認や指導、情報交換を行った。

また、認知症サポーター養成講座の事務局機能も委託されており、適切なオレンジリング・テキストの在庫管理に努めている。

<家族介護教室>

感染予防対策を講じたうえで、「高齢者の体調管理」をテーマとして 3 月 25 日に 6 名の方が参加され開催した。健康寿命を延ばす内容には、皆関心を示し大変好評であった。

<サブスタッフ養成・活動事業>

通常下半期に実施していた「サブスタッフ養成事業」については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、小金井市介護福祉課の意向もあり本年度は中止となった。

サブスタッフ活動については、今までに養成講座を卒業された計 7 名の方が、桜町センター総合事業通所型サービスの「サブスタッフ」として、ご利用者様支援のための活動を

行ったが、緊急事態宣言中の活動は中止とした。

④ グリーンタウン高齢者住宅管理（小金井市受託事業）

現在 70 世帯 84 名の入居者を対象に管理人 6 名で、月曜～土曜の日中帯に巡回や安否確認の管理業務を行っている。管理人とご入居者様との信頼関係は良好で、関係機関とも連携を密にとることで安全に安心して生活できる環境づくりに貢献できていると感じる。

昨年度まで月 1 回行っていたグリーンタウン喫茶は、新型コロナウイルスの感染症の状況を鑑み中止とした。

2) 訪問サービス係

① 訪問介護

新型コロナウイルスの影響はほとんどなく、「数値目標」はほぼ達成できた。2019 年度と比べても緩やかに実績は伸びている。

サービス目標である「より要支援、喜ばれるサービスの継続」についてもご利用者様・ご家族様から信頼されるサービス提供ができたと考えている。また、「業務を円滑に遂行するためのチーム体制」についてもヘルパー検討会を通じて様々な課題や問題を検討する中で、共通の認識の情報の共有を図ることができた。

<今後の課題>

- ・2020 年度はヘルパー募集のポスター掲示の効果もあり、久しぶりにヘルパー 1 名を採用できたが、ヘルパーの高齢化が進んでいるため、新たな人材をどう確保していくかは引き続き課題である。

② 訪問入浴介護

A：多様なニーズ・医療ニーズに応えるためのサービス提供について

- ・コロナ禍の感染予防のためサービス提供中の会話は抑えつつも、気持ち良く入浴できるように配慮しながら実施できている。
- ・情報共有は、詳細事項まで連絡ノートに記載の上各自確認してもらい、業務やサービス提供に関する意見は随時調整し不備がないようにできた。

B：財務の安定への貢献について

- ・4 月～7 月までは目標件数を達成できたが、7、8 月の複数名終結による訪問数の大幅減からそれ以降なかなか回復ができず、年間の目標件数からは大きく下回った。新型コロナウイルスの影響もあり、発熱や隔離期間中といった理由からのキャンセルもみられた。
- ・様々な状況（利用者の変動、体制、入浴車両等）から安定した実績を残していくことは至難の業である。今後は「老いから看取りまで」の一旦を実践していくための事業継続を主の目的として、事業の縮小を視野に入れ、職員が他事業との兼務を効率良くできるように調整していく考えである。

3) 栄養部（総合給食係）

① 「食事の満足度向上に対する取り組みを行い、日々の生活に楽しみが持てるような食の提供に努める」目標に対して

- ・上記目標に対して、おおむね達成できた。
- ・満足度アンケートについては実施できていない。2021 年度は他職種と協働し満足度

アンケートを実施する。

・コロナウイルスの関係で中断しているミーティングについては再開する。

② 「食に関する支出の削減及び収入増に取り組み、財務改善につなげる。」目標に対して

・合理的な食事提供・献立作成・食形態などの整備は十分に行えず、各施設で実施している状況。今後も継続した検討・取り組みが必要。

・新型コロナウイルスの影響により、消耗品（アルコール、手袋等）の使用量が大幅に増加している。代替品の検討も必要である。

・今後の事業展開を見据えた厨房機器の入替えや修繕計画が必要である。

③ 「業務の中央化・統合化を視野に入れた給食経営マネジメントシステムを見直し」目標に対して

・栄養ソフトの実効性のある使い方が不十分。機能を十分に使いこなしていない。

4) 居宅介護支援係

① ご利用者様の抱える課題把握と課題解決について

・2人体制でのインテーク面接は、コロナ禍で密を避けるため実施しなかったが、それ以外の項目（定期会議や日常業務内での話し合い等）については達成できた。

② 法人内事業所や地域の事業者との連携について

・11月に他事業所（みずたま介護小金井）と共同事例検討会を実施した。

・事業所の苦情については会議で取り上げたのち、サービス担当者に伝え改善を促した。

③ 業務の標準化・働きやすい職場づくりへの取り組みについて

・コロナ禍で研修開催数が少なく、参加も少なかった。下半期は少しずつオンライン研修に参加するようになった。

・働きやすさを考え、タブレットを購入した。オンライン研修では有効活用できたが、タブレット内の介護ソフト活用については、個人差がある状況。

⑤ 数値目標について

・月間160件の数値目標は達成した。年度初めは感染症の影響でサービスを計画しても実績がなくケアプラン数が低下することもあったが、感染症予防のために担当者会議を紹介に替えたり、モニタリング訪問を躊躇するご利用者様に対しては、別のモニタリング方法を実施することでプラン数を安定化することができた。

5) 地域包括支援係（小金井きた地域包括支援センター）

① 「地域包括ケアシステムの構築をすすめ、地域のニーズに貢献する目標」に対して

地域住民、民生委員、関係機関から寄せられる相談事に対し、迅速に対応することを心掛けた。コロナの影響で相談形態も電話での聞き取り、訪問は短時間で先方に負担のかからないよう十分に配慮しながら対応をした。

社会資源の掘り起こし、ネットワークづくりにおいては「コロナでサロンに通えなくても人と繋がるにはどうしたらいいか」という課題に対し、生活支援コーディネーターが「zoomを使って交流の場を持とう」という試みでサロンのリーダーに声をかけた。興味を示したサロンに対し、パソコンが不得手な高齢者でも一緒に操作をしながら参加を呼びかけ、2,3人の有志から始まった。徐々に人数が増え「梶野町オンラインコミュニティ」として毎月1回定例会を開催するに至った。

また、zoomではなく人と会って話したいというニーズに対しては、屋外で集う方法を高

齢者と一緒に考え、地域の公園や商店街を少人数で散歩してみようということで次年度に向けて進行している。

認知症に対する取組みとしては認知症地域支援推進員を中心に認知症サポーター養成講座を zoom を使って地域の方々向け、市職員向けに実施した。

年度内に各包括で1回は「認知症カフェ」を開催するよう市から要請され、3月末に戸塚ホールで開催した。次年度も開催することになるが、回数は未定。コロナで飲食禁止ではあったが、感染者数が減り終息の方向となった際には提供を考えている。

②「各自の業務内容を把握し、抱え込みや偏りのないようチームで考え、チームで取り組む体制をつくる」目標に対して

前年同様困難ケースや虐待対応は経験のある職員が対応した。指導体制はまだ十分とは言えないが、コロナ対応で第2事務所を設けたことで個別相談や指導はしやすくなった。デメリットとして、相談対応の場面を直接見聞きしていないため、問題が起こった時に対応が後手に回ることもあった。「報・連・相」が正確に伝わらないこともあり、この点については課題が残る。

③「医療と介護の連携・協働の強化に務める」目標に対して

前年同様医療と介護の連携会議をはじめ、他の研修・会議に参加した。コロナで研修、会議は基本オンラインとなり、直接顔を合わせるができなかった。

認知症の疑いがある方の相談に対して、桜町病院や小金井メディカルクリニック、菊地脳神経外科を紹介し、専門医へ繋げることができた。

<2020年度事業実績件数>

① 総合相談・支援業務	3,285 件
② 虐待・権利擁護	7 件
③ 予防給付介護予防ケアマネジメント	1987 件
④ 総合事業ケアマネジメント	1,201 件

2020年度 在宅サービス部 利用実績集計表 (桜町高齢者在宅サービスセンター)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
通所介護	通所介護 営業日数	26	24	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	307	
	1日 定員30名(金曜日は40名)	820	800	820	850	820	820	860	790	790	760	760	810	9,700	
	実利用者人数	97	82	101	106	103	108	107	107	105	103	101	103	102	
	延利用者数合計	557	497	658	696	662	636	688	614	634	584	594	686	7,506	
	延利用者数(一般)	452	399	513	539	516	478	523	470	481	446	452	507	5,776	
	延利用者数(現行相当型)	8	5	18	17	16	14	16	15	17	12	11	14	163	
	延利用者数(市基準型)	97	93	127	140	130	144	149	129	136	126	131	165	1,567	
	登録者数	133	132	132	135	141	145	147	149	149	148	148	148	148	253
	新規者数	1	1	2	3	6	6	3	3	5	2	2	2	36	
	終結者数	1	2	1	0	0	2	1	1	5	1	2	2	18	
	月利用率	67.9%	62.1%	80.2%	81.9%	80.7%	77.6%	80.0%	77.7%	80.3%	76.8%	78.2%	84.7%	77.4%	
	認知症対応型 営業日数	26	24	26	27	26	27	26	27	25	25	24	27	307	
	1日 定員24名	624	576	624	648	624	624	648	600	600	576	576	648	7,368	
	実利用者人数	43	40	44	43	40	41	41	39	38	41	40	39	41	
延利用者数	368	339	388	403	358	409	417	371	352	381	365	413	4,564		
登録者数	53	52	53	52	52	53	52	53	52	51	49	48	52		
新規者数	4	0	4	1	1	1	0	1	0	2	0	0	14		
終結者数	1	1	3	2	1	0	3	0	1	1	2	1	16		
月利用率	59.0%	58.9%	62.2%	62.2%	57.4%	65.5%	64.4%	61.8%	58.7%	66.1%	63.4%	63.7%	61.9%		
訪問入浴	訪問入浴 営業日数	21	20	22	22	22	21	21	21	20	20	20	22	252	
	目標件数 5.0件/日	105	100	110	110	110	105	105	105	100	100	100	110	1,260	
	延入浴件数	93	97	103	102	84	79	76	65	72	61	66	82	980	
	延清拭件数	0	2	1	7	6	2	3	1	2	4	7	0	35	
	登録者数	27	26	26	25	19	18	17	16	17	19	21	20	20.9	
	新規者数	3	1	2	2	0	1	0	0	1	3	2	1	16	
	終結者数	2	2	3	6	2	0	1	0	1	0	2	3	22	
	月利用率	88.8%	99.0%	94.5%	99.1%	81.8%	77.1%	75.2%	62.9%	74.0%	65.0%	73.0%	74.5%	80.6%	
	訪問介護 営業日数	26	24	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	307	
	目標件数 100件/週	476	439	476	494	476	476	496	458	458	439	439	494	5,621	
延派遣件数	519	476	530	537	456	470	509	507	522	480	463	522	5,991		
登録者数	71	71	69	67	66	68	70	73	70	67	69	67	69.0		
新規者数	3	1	0	0	0	2	2	5	1	0	3	1	18		
終結者数	1	2	2	1	0	0	2	4	3	1	3	4	23		
月利用率	109.0%	108.4%	111.3%	108.7%	95.8%	98.7%	102.6%	110.7%	114.0%	109.3%	105.5%	105.7%	106.6%		
居宅支援	介護プラン作成件数 実績	157	160	164	164	160	162	164	165	168	166	170	171	1,971	
	160/月 新規	6	6	7	9	4	4	7	3	8	7	4	3	68	
	160/月 終結	2	3	4	3	5	4	4	3	3	6	5	2	44	
	法人紹介率 一般通所 合計	36/83	36/75	38/87	37/84	35/83	36/82	38/85	38/88	38/89	36/87	34/84	37/75		
	桜町	31	31	33	34	33	34	34	34	34	33	31	34		
	本町	6	5	5	3	2	4	5	5	5	4	4	4		
	認知通所 合計	28/29	27/28	29/30	29/30	28/30	27/29	28/30	27/30	27/30	27/30	26/30	27/31		
	桜町	21	19	21	22	20	20	21	20	21	22	21	21		
	本町	8	9	9	8	9	8	8	8	7	6	6	7		
	訪問介護	16/62	17/66	16/67	15/66	15/67	16/66	14/67	16/67	16/68	16/62	18/65	19/67		
訪問入浴	3/5人	3/5人	3/5人	3/5人	4/7人	3/6人	3/6人	3/6人	4/7人	4/7人	3/6人	3/6人			
訪問看護	12/31人	13/35	16/39	15/41	14/42	15/43	13/40	15/46	15/43	14/45	14/44	17/49			
短期入所	9/25人	7/22人	9/27人	10/26人	9/25人	/人	6/21人	7/26人	9/24人	7/21人	6/22人	/人			
認定調査件数 他市含 5/月	4	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	44		
包括支援	介護予防・総合事業プラン件数計 300件/月	275	273	285	291	290	292	294	296	287	287	280	296	3,446	
	直営件数 200件/月	180	181	191	199	199	201	202	206	199	203	201	214	2,376	
	直営新規件数	6	3	6	6	8	3	4	4	4	4	5	7	60	
	直営月利用率	90.0%	90.5%	95.5%	99.5%	99.5%	100.5%	101.0%	103.0%	99.5%	101.5%	100.5%	107.0%	99.0%	
	委託件数 100件/月	95	92	94	92	91	91	92	90	88	84	79	82	1,070	
	委託新規件数	4	0	2	2	1	2	3	2	0	0	0	1	17	
委託月利用率	95.0%	92.0%	94.0%	92.0%	91.0%	91.0%	92.0%	90.0%	88.0%	84.0%	79.0%	82.0%	89.2%		
栄養事業	自由配食 営業日数	25	23	26	25	25	25	27	23	24	23	22	26	294	
	目標食数 70食/日(最低68/日)	1,750	1,610	1,820	1,750	1,750	1,750	1,890	1,610	1,680	1,610	1,540	1,820	20,580	
	実人数	111	111	111	117	117	113	114	110	104	101	101	99	1,099	
	延食数	1,597	1,451	1,744	1,617	1,689	1,611	1,766	1,562	1,547	1,438	1,344	1,608	18,974	
	登録者数	120	122	120	126	129	125	126	127	123	122	122	120	124	
	新規者数	2	4	1	7	4	0	1	3	3	3	2	1	31	
	終結者数	2	2	3	1	1	4	0	2	7	4	2	3	31	
	自由配食月利用率	91.3%	90.1%	95.8%	92.4%	96.5%	92.1%	93.4%	97.0%	92.1%	89.3%	87.3%	88.4%	92.1%	
	給食数(通所屋)	818	730	893	928	866	860	926	833	823	826	812	920	10,235	
	利用者実人数	4	4	4	5	5	6	5	4	6	3	3	2	4.3	
延派遣回数			8	14	12	10	11	10	12	電話接続回数(市指)	電話接続回数(市指)	電話接続回数(市指)	77		
支援員登録数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8.0		
ボランティア総回数(生活)	31	15	61	68	65	68	71	67	66	20	16	25	573		
ボランティア総回数(教養)	12	12	11	25	21	16	23	16	22	15	14	23	210		

2020年度 部門別達成率

桜町高齢者在宅サービスセンター
上段:人(件)
下段:千円
(標準執行率 75.0%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
一般デイ	人数予算	30人	779	732	779	808	779	779	817	751	722	722	808	9,227	
	実績		557	497	659	696	662	636	690	614	633	584	594	686	7,508
	差額		-222	-235	-120	-112	-117	-143	-127	-137	-118	-138	-128	-122	-1,719
	達成率		0.72	0.68	0.85	0.86	0.85	0.82	0.84	0.82	0.84	0.81	0.82	0.85	0.81
認知デイ	人数予算	18人	468	432	468	486	468	468	486	450	450	432	432	486	5,526
	実績		368	338	388	403	358	409	417	371	352	381	365	413	4,563
	差額		-100	-94	-80	-83	-110	-59	-69	-79	-98	-51	-67	-73	-963
	達成率		0.79	0.78	0.83	0.83	0.76	0.87	0.88	0.82	0.78	0.88	0.84	0.85	0.83
デイ計	人数予算	13000	6,084	5,616	6,084	6,318	6,084	6,084	6,318	5,850	5,850	5,616	5,616	6,318	71,838
	実績		4,917	4,220	5,220	5,296	4,667	5,161	5,627	4,856	4,554	4,971	4,731	5,337	59,557
	差額		-1,167	-1,396	-864	-1,022	-1,417	-923	-691	-994	-1,296	-645	-885	-981	-12,281
	達成率		0.81	0.75	0.86	0.84	0.77	0.85	0.89	0.83	0.78	0.89	0.84	0.84	0.83
訪問入浴	人数予算	50人	1,247	1,164	1,247	1,294	1,247	1,247	1,303	1,201	1,201	1,154	1,154	1,294	14,753
	実績		925	835	1,047	1,099	1,020	1,045	1,107	985	985	965	959	1,099	12,071
	差額		-322	-329	-200	-195	-227	-202	-196	-216	-216	-189	-195	-195	-2,682
	達成率		0.74	0.72	0.84	0.85	0.82	0.84	0.85	0.82	0.82	0.84	0.83	0.85	0.82
訪問介護	人数予算	14398	12,550	11,692	12,550	13,024	12,550	12,550	13,099	12,083	12,083	11,609	11,609	13,024	148,423
	実績		9,889	8,695	10,820	11,185	10,284	10,384	11,137	9,962	9,666	9,810	9,561	10,560	121,953
	差額		-2,661	-2,997	-1,730	-1,839	-2,266	-2,166	-1,962	-2,121	-2,417	-1,799	-2,048	-2,464	-26,470
	達成率		0.79	0.74	0.86	0.86	0.82	0.83	0.85	0.82	0.80	0.85	0.82	0.81	0.82
ケアマネ	件数予算	160件	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	1,920
	実績		158	158	165	163	161	159	166	166	164	166	170	171	1,967
	差額		-2	-2	5	3	1	-1	6	6	4	6	10	11	47
	達成率		0.99	0.99	1.03	1.02	1.01	0.99	1.04	1.04	1.03	1.04	1.06	1.07	1.02
ケアマネ(認定調査)	件数予算	5件	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	実績		4	4	3	3	2	4	4	3	5	4	4	4	44
	差額		-1	-1	-2	-2	-3	-1	-1	-2	0	-1	-1	-1	-16
	達成率		0.80	0.80	0.60	0.60	0.40	0.80	0.80	0.60	1.00	0.80	0.80	0.80	0.73
きた包括	件数予算	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,600
	実績		275	273	286	293	292	293	295	297	289	287	280	296	3,456
	差額		-25	-27	-14	-7	-8	-7	-5	-3	-11	-13	-20	-4	-144
	達成率		0.92	0.91	0.95	0.98	0.97	0.98	0.98	0.99	0.96	0.96	0.93	0.99	0.96
栄事(デイ食費)	人数予算	40食	1,040	960	1,040	1,080	1,040	1,040	1,080	1,000	1,000	960	960	1,080	12,280
	実績		818	730	893	928	866	860	926	833	823	826	812	920	10,235
	差額		-222	-230	-147	-152	-174	-180	-154	-167	-177	-134	-148	-160	-2,045
	達成率		0.79	0.76	0.86	0.88	0.83	0.83	0.88	0.83	0.83	0.86	0.85	0.85	0.83
栄事(自由配食)	人数予算	750	780	720	780	810	780	780	810	750	750	720	720	810	9,210
	実績		621	548	670	706	653	651	697	625	624	620	609	690	7,714
	差額		-159	-172	-110	-104	-127	-129	-113	-125	-126	-100	-111	-120	-1,496
	達成率		0.80	0.76	0.86	0.87	0.84	0.83	0.86	0.83	0.83	0.86	0.85	0.85	0.84
合計	収入予算		21,754	20,520	21,887	22,394	21,826	21,693	22,662	21,145	21,266	20,437	20,376	22,455	258,415
	実績		18,791	17,395	20,200	20,525	19,274	19,029	20,202	18,733	18,484	18,244	18,085	19,870	228,832
	差額		-2,963	-3,125	-1,687	-1,869	-2,552	-2,664	-2,460	-2,412	-2,782	-2,193	-2,291	-2,585	-29,583
	達成率		0.86	0.85	0.92	0.92	0.88	0.88	0.89	0.89	0.87	0.89	0.89	0.88	0.89

【施設整備状況】

(1) 概況説明

設置後 30 年が経過しており、ボイラー・ポンプ類など様々な設備に修繕・メンテナンスの必要が出ている。また、車両や備品の老朽化も目立っており部品交換や故障が多く、施設全体の現状を把握し必要箇所の優先度を決め計画的に整備を進めていく必要がある。

(2) 主な固定資産購入

● 2020 年 5 月	3 階介護者教室エアコン一式	231,000 円
● 2020 年 7 月	3 階厨房エアコン一式	160,000 円
● 2020 年 9 月	業務用洗濯機	1,228,700 円
● 2020 年 9 月	1 階給湯室電気給湯器	206,800 円
● 2020 年 9 月	ノートパソコン (事務室)	134,728 円
● 2020 年 12 月	館内 Wi-Fi 機器設置	561,000 円
● 2021 年 12 月	リフト付送迎車両 (トヨタハイエース)	1,960,000 円
● 2021 年 3 月	車載用簡易無線機	123,915 円

※①、③、④、⑥は「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援」の補助金により購入

(3) 主な修繕費等

① 2020 年 4 月	温水ヒータ部品交換修理	407,000 円
② 2020 年 9 月	地下洗浄機バーナ修理	82,104 円

(4) リース資産

● 2021 年 4 月	館内電灯 LED 照明	(年間返済分) 1,228,700 円
--------------	-------------	---------------------

【その他】

(1) 労働災害発生状況

- 4 月 訪問派遣先でのヘルパー介護中に 肋骨骨折を受傷する事案が発生。
(丸田職員)

(2) 自動車事故

- 5/29 に訪問入浴車 (運転: 志藤職員) が市内の狭い交差点で自転車に乗った小学生と接触事故を起こす。小学生は救急車で運ばれ右肋骨骨折を受傷し、志藤職員は警察にて実況見分を受ける。自動車対人賠償保険を利用、その後小学生のケガは完治し示談が成立する。

【教育研修一覧】

2020年度 研修実施一覧表（期間 2020/4/1～2021/3/31）

（部署名：桜町高齢者在宅サービスセンター）

日程	分類	研修内容	場所	氏名
10/16	介護予防	軽度要介護者向け通所介護サービスへの住民参加の促進に関する研究会 ①	アットビジネスセンター池袋	鈴木 治実
11/6, 13, 20, 27	総合	新型コロナウイルス時代の地域ケアを考えるトークセッション(全4回)	オンライン講座	鈴木 治実
11/13	介護技術	介護技術に関する研修会	オンライン研修	窪田 梓
12/14	介護予防	軽度要介護者向け通所介護サービスへの住民参加の促進に関する研究会 ②	アットビジネスセンター池袋	鈴木 治実
12/14	介護予防	軽度要介護者向け通所介護サービスへの住民参加の促進に関する研究会 ③	アットビジネスセンター池袋	鈴木 治実
2/19	総合	介護サービス事業者支援研修(・利用者の尊厳保持と自立支援、・利用者本位の介護技術)	オンライン講座	田丸 伸彦
2/23	介護保険	集団指導(通所介護)研修	オンライン講座	鈴木 治実

（部署名 桜町ホームヘルプステーション）

日程	分類	研修内容	場所	氏名
2/6	介護	東京都国保連介護サービス事業所支援研修会「利用者の尊厳の保持と自立支援のアセスメント」(無料動画配信)	センター内	後藤奈保美
2/10	介護	東京都国保連介護サービス事業所支援研修会「利用者本位で介護技術を提供するために」(無料動画配信)	センター内	後藤奈保美
2/10	介護	東京都国保連介護サービス事業所支援研修会「利用者の尊厳の保持と自立支援のアセスメント」(無料動画配信)	センター内	服部正子
2/17	介護	東京都国保連介護サービス事業所支援研修会「利用者本位で介護技術を提供するために」(無料動画配信)	センター内	

（部署名 桜町ケアマネジメントセンター）

日程	分類	研修内容	場所	氏名
12/14	虐待防止	令和2年度東京都高齢者権利擁護推進事業 介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修	ルネ小平	金丸 直子
1/27	認知症	2020年度都医学研都民講座「認知症、早く見つけて予防しよう」	オンライン	高野 満知子
2/24	その他	令和2年度小金井市介護支援専門員研修「生活支援記録法」第1回	オンライン	遠藤 直美
3/16	その他	令和2年度小金井市介護支援専門員研修「生活支援記録法」第2回	オンライン	遠藤 直美
3/24	認知症	認知症VRセミナー	小金井市社会福祉協議会	古川 洋美

(部署名:小金井きた地域包括支援センター)

日付	分類	研修内容	場所	氏名
7/9,10	虐待	養護者による虐待対応研修(基礎研修)	茗荷谷	中川
7/14,15	総合	地域包括支援センター初任者研修	東京都福祉保健財団	峠
7/29,30	総合	地域包括支援センター初任者研修	東京都福祉保健財団	佐伯
7/13	生活支援	令和2年度 区市町村介護予防事業担当者向け研修 総合編②	小金井市役所内	小野
8/3	生活支援	令和2年度 区市町村介護予防事業担当者向け研修 実践編Ⅱ 第一回	小金井市役所内	小野
8/24	生活支援	令和2年度 区市町村介護予防事業担当者向け研修 実践編Ⅰ 第二回	小金井市西庁舎第6会議室	小野
9/17	生活支援	令和2年度 区市町村介護予防事業担当者向け研修 実践編Ⅰ 第三回	小金井市西庁舎第6会議室	小野
9/24	虐待	養護者による虐待対応研修(基礎研修)	あいおいニッセイ	佐伯
10/8	虐待	権利擁護テーマ別研修(第2回)	あいおいニッセイ	中川
10/8	生活支援	令和2年度 区市町村介護予防事業担当者向け研修 実践編Ⅰ 第四回	本町暫定第2会議室	小野
10/26,27	生活支援	令和2年 生活支援コーディネーター初任者研修 (zoom)	みなみ包括	小野
10/27,28	虐待	養護者による虐待対応研修(応用研修A)	東京都福祉保健財団	中川
11/7,8	認知症	認知症初期集中支援チーム員研修会	ベルサール汐留	佐伯
11/20	認知症	東京都キャラバン・メイト養成研修	新宿NSビル	佐伯
1/20	生活支援	「コロナ時代の地域の居場所のつくり方」	オンライン参加	星野
1/13	ケアマネ	自立支援・重度化防止のケアプラン作成	社協2階会議室	高野、峠
2/15	その他	高次脳機能障害相談支援研修会	オンライン参加	中川
2/17	ケアマネ	CMAT基本研修第2回	オンライン参加	高野
2/19	ケアマネ	利用者のご家族を支える専門職に求められること(歯科編)	オンライン参加	高野
2/24	ケアマネ	CMAT基本研修第3回	オンライン参加	高野
3/3	ケアマネ	CMAT基本研修第4回	オンライン参加	高野
3/10	ケアマネ	CMAT基本研修第5回	オンライン参加	高野
3/19	生活支援	モデル事業、先駆的取り組みから改めて学ぶ、「地域ケア会議」コロナ禍の今だからこそ出来る事。	オンライン参加	星野

Ⅲ 本町高齢者在宅サービスセンター（通所介護）

【令和2年度利用状況報告】

1. 事業別利用率状況（3か年の推移）

種別	定員	1日平均利用者数	利用率（R2）	利用率（R1）	利用率（H30）
通所介護（一般・予防）	25名	23名	91.9%	92.8%	93.6%
認知症型通所介護	12名	9.5名	78.8%	85.7%	79.2%
食の自立支援事業	80名	87.3名	106.5%	103.6%	104.2%

（1）通所介護（予防型・一般型）

①要介護度別実人数・延べ人数

介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	10	24	283	254	142	48	18	779
割合	1.3%	3.1%	36.3%	32.6%	18.2%	6.2%	2.3%	100.0%
介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	40	201	2249	2650	1244	586	88	7058
割合	0.6%	2.8%	31.9%	37.5%	17.6%	8.3%	1.2%	100.0%

●実人数 介護3以上 26.7% 介護3以下 73.3%

●延人数 介護3以上 27.2% 介護3以下 72.8%

②基本属性

平均年齢 87歳（最高100歳女性、最低64歳女性）

男女比率 男性16%：女性84%

利用登録者 要介護者 58名 要支援者 3名 合計 61名

新規利用者 18名 主な利用理由（外出機会の確保・転倒や認知症予防・趣味活動参加での生きがい作り・入浴希望等）

廃止利用者 29名 主な廃止理由（逝去・施設入所・転居・他サービス利用）

（2）認知症対応型通所介護

①要介護度別実人数・延べ人数

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	0	0	6	30	41	40	186	303
割合	0.0%	0.0%	2.0%	9.9%	13.5%	13.2%	61.4%	100.0%
介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	0	0	75	328	495	387	1617	2902
割合	0.0%	0.0%	2.6%	11.3%	17.1%	13.3%	55.7%	100.0%

●実人数 介護3以上 88.1% 介護3以下 11.9%

●延人数 介護3以上 86.1% 介護3以下 13.9%

②基本属性

平均年齢 84歳（最高95歳女性、最低71歳男性）

男女比率 男性32%：女性68%

利用登録者 要介護者 25名 要支援者 0名 合計 25名

新規利用者 15名 主な利用理由（認知症の方の全面的支援認知症ケア・見守り対応・家族介護軽減・入浴希望・その他等）

廃止利用者 20名 主な廃止理由（逝去・施設入所・長期入院）

【職員】

	令和2年4月1日の職員数			年間退任・就任						令和3年3月31日の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1名		1名							1名		1名
生活相談員	5名		5名		1名				1名	4名		4名
介護職員		14名	14名			2名					16名	16名
看護職員		5名	5名								5名	5名
栄養士調理員		4名	4名			1名	1名	1名	1名		4名	4名
宅配員		13名	13名			2名	2名	2名	2名		13名	13名
食の自立 Co		1名	1名			1名		1名			2名	2名
事務員		1名	1名								1名	1名
運転員		3名	3名								3名	3名
清掃員		2名	2名								2名	2名
合計	6名	43名	49名		1名	6名	3名	4名	4名	5名	46名	51名

※但し、兼務者は主たる業務でカウントしている。

【施設運営状況】

1. 指定管理協定更新の5年目

2020（令和2）年度は小金井市の指定管理協定の第4期（5か年：2011年度～2015年度）を経て、第5期（5か年：2016年度～2020年度）の5年目であった。

部門においては第4期中期経営計画【2020（令和2）～2023（令和4）年度】の初年度として第4期中期経営結果を踏まえ、経営の更なる恒常的安定を目指し、サービス・業務の向上に取り組んだ。

（資料）東社協 経営検討委員会 経営分析結果報告書 分析結果個票からの抜粋

年度	サービス活動収益対経常増減差額比率	
	本町センター	都内公設民営平均
2019（R1）	9.19%	-2.73%
2018（H30）	2.61%	1.14%
2017（H29）	5.29%	2.82%
2015（H27）	15.42%	3.04%
2014（H26）	12.91%	5.48%

※ちなみに、東社協のデイサービス経営実態調査結果は、当該年度の前年度分が公表される仕組みなので、2020（R2）年度の実態調査は2021（R3）年度示される予定である。

2. 財務報告

本年度（2020（R2）年度）決算は、資金収支会計で当期資金収支差額合計（運転資金）は借入金なく、約700万円の黒字（昨年度は800万円）となっている。

また、事業活動収支会計は、当期サービス活動増減差額（1年間の経営成績）は、262万円の黒字である。事業活動収支会計における介護保険事業収益は1億5,800万円であった。

2020 (R2) 年春から始まった新型コロナウイルスの蔓延は、2021 (R3) 年に入ってからには変異株の出現による更なる感染者数の増大している。小金井市内介護施設においても、複数の施設で感染者が出現し、ご利用者様・職員ともに市中感染の脅威に晒されてきた。その関係で、通所施設の利用の手控えがマスクミなどで大きく紹介されていたが、当センターに限って言えば、手控えは限定的で収支バランスの崩れは想定内に留まった。

ちなみに、人件比率は 72.2% (昨年度は 69.8%) で、昨年度よりも微増。東社協が発表している令和元年度の都下公設民営(定員 30 人超 40 人以下の規模)の平均人件費比率は 71.99%なので、平均的な人件費率と言えよう。

3. 小金井市公の施設の指定管理者として選定・指定 (2020 年 11 月 20 日、2021 年 3 月 5 日)

2020 (令和 2) 年 7 月 17 日付で申請した指定管理者の指定申請に関しては、2020 (令和 2) 年 11 月 20 日に選定が行われ、2021 (令和 3) 年 3 月 5 日に指定され、指定期間は 2021 (令和 3) 年 4 月 1 日～2026 年 (令和 8) 年 3 月 31 日までの 5 年間となる。

【利用者支援状況】 *は本年度新規

1. サービス方針に則った取組み

1) 人格を尊重した福祉の実践

(1) 労働環境改善取組み

① 処遇改善計画の立案・実施

- ・ 処遇改善手当対象外職員への賃金改善など
- ・ 腰痛ベルト支給、国家資格受験料助成、健康管理支援 (メンタルヘルスチェック、健康診断オプション検査助成)

② 雇用促進

調理師 (1 名 35h/w)、食の自立 Co (1 名 40h/w) 採用

③ 身体の健康管理対策

- ・ 安全衛生標語の作成と MTG での唱和
- ・ 腰痛ベルト支給
- ・ 職員検診 (2 月)

④ メンタルの健康管理対策

- ・ コミュニケーション標語の作成と MTG での唱和
- ・ コミュニケーション改善のための OJT の習慣化
- ・ ストレスチェックの実施 (中央労働災害防止協会)

⑤ 建物設備修繕・更新

* オーニング貼替工事 (10 月)

* 車輻無線全車デジタル化 (10 月)

* タオルウォーマーの購入 (10 月)

* 非常口ドア付近の漏水工事 (ドア交換など) (11 月)

* 介護用チェアの購入・入替 (11 月)

* 介護用テーブルの購入・入替 (11 月)

* 職員更衣室水道工事 (12 月)

⑥ 記録の見直し

- ・ ご利用者連絡ノートのフォーマット見直し

⑦ 職員親睦

・ 職員慰労会開催 (12 月)

・ チャレンジ・サラメシ (年間を通して)

(2) 人材育成取組み

①理念に則った支援の遂行

・OJT

- ・相談員 MTG、職員会議で支援の振返りと検討

*フィッシングサポートの手順化（決裁を受けて実施するルールづくり）

②権利擁護の意識醸成

- ・人権・権利擁護研修（1名）

- ・ストレスチェックの実施（5月）

- ・虐待の芽チェックリストの実施・分析（8月・12月）

- ・高齢者虐待防止のための組織体制チェックリストの実施・分析（8月・12月）

③介護事故・ヒヤリハットの丁寧な振り返り

④生活相談員会議、看護師会議、給食会議、職員会議の定期開催

⑤サービス・業務向上委員会の見直し

⑥メンター制による中途採用職員の育成

(3) 愉しみ、張り合い、心地よさの追求取組み

●利用者アンケートの実施（2020/06 月中）

①愉しみの追求

- ・給食会議の定例化（毎月第2火曜日）

- ・行事食や食形態の見直し等を検討。

- ・リクエストメニューの実施（6月）

- ・栄養部主催の味噌づくり（2月）

- ・援農活動（育苗、水やり、苗植え、草取り、収穫、調理、試食会など）

- ・保存食づくりと援農収穫物の調理や試食

- ・梅シロップづくり（5月）

- ・赤しそジュース作り、らっきょう漬け、梅干し作り（6月、7月）

- ・ゆずシロップ作り、漬物作り、スイートポテト作り

- ・かりんシロップ作り（11月、12月）

- ・大根餅作り、夏みかんシロップ作り（2月、3月）

*コロナ禍での三密回避を踏まえた活動の工夫

- ・壁掛け用大型スクリーン、スピーカーの購入（11月）

*保存食づくり充実化のため2階冷蔵庫入れ替え（8月）

②張り合いの追求

- ・ご利用者100歳のお誕生日会の実施（8月）

*多世代交流（道草市11月への出店・参加）

*保育園作品交流（小金井保育園、しんあい保育園、しんあいのぞみ保育園）

- ・文化週間作品コーナーへの展示（11月）

- ・「私とあなたの思い出写真コーナー」の実施（認知デイ）

*認知症進行予防の取り組み立案と実施（2月～）

- ・脳トレーニング 「脳を鍛える学習療法」

- ・回想法「よい聴き手であり続けるために」

③心地よさの追求

- ・事務所内飛沫感染予防用手づくりスクリーン設置

*夏用マスク寄贈（ご利用者ご家族様より）

*3階PS室排気管修繕（9月）

*カーテンレール・カーテン設置（トイレ・ダイルーム）（9月）

*グリストラップ清掃（9月）

- * 整容用タオルウォーマー購入 (10 月)
- * 2 階介護用チェア・テーブルの購入設置 (11 月)
- * 非常口付近漏水修繕工事 (11 月)
- ④ 重度障害・医療ニーズの高い認知症高齢者、看取り支援
 - ・ 重度介護が必要な方や看取り介護が必要な方の積極的受け入れ。
 - ・ 経管栄養、痰の吸引、在宅酸素、褥瘡処置
 - ・ 看取り支援 (医療と多職種連携、食事摂取方法の検討、家族支援)
 - ・ 食形態 (特食) 食事摂取方法の検討 (栄養部と連携)
 - ・ 在宅医療、介護サービスとの多職種連携 (MCS の活用)
- * 自走式・介助式車椅子購入 (3 月)
- ⑤ その人らしさ
 - * 通所介護フェースシート様式変更 (12 月)
 - ・ 虐待の芽チェックリスト実施 (8 月・12 月)
- ⑥ 広報・PR 活動
 - * 本町センターリーフレット「住み慣れた地域で暮らし続けるために」作成 (3 月)
 - ・ ホームページ【さくらんぼルーム】更新
 - ・ ケアの見える化 (ホームページ・センター内掲示)

2) 安全と安心の提供

(1) 食の自立支援事業 (配食、活動会食会、いっぷくカフェ、食の自立第三者委員会など)

① 配食サービス

- ・ 配達日：日曜・祝日・年末年始 (12/29～1/3) を除く平日
- ・ 利用日：月水金または火木土の週 3 回以内
- ・ 対 象：下記ア、イの要件を満たし且つ包括支援センターの調査訪問結果で市の承認を得た方
 - ア：介護保険サービスを利用している方
 - イ：「ひとり暮らし」もしくは「高齢者世帯」、「その他の世帯」で食材の調達・調理が困難で、定期的な見守り支援が必要な方
- ・ 利用数：定員は 80 食/日。実績は平均 85 食/日。

※新型コロナウイルスの感染症対策・予防のマニュアルを作成した。

② いっぷくカフェ

- ・ 開催頻度：月 1 回
- ・ 内 容：閉じこもり防止のきっかけづくりとして外出機会をつくる。新型コロナの蔓延状況から会食会を中止していたが、2020 年 11 月に市と協議し、活動会食会に替わるものとして運動を取り入れた喫茶の活動に変更した。(名称は「いっぷくカフェ」としている。)
- ・ 対 象：食の自立支援事業配食サービスご利用者様から選定
- ・ 実施時間：14 時～15 時
- ・ 参加人数：5 名～6 名

※開催が出来なかった 3 月～10 月は電話によるモニタリングを実施した。

③ 食の自立第三者委員会

- ・ 目 的：食の自立支援事業 (配食、いっぷくカフェ、活動会食会など) が、事業の目的にあって提供し機能するよう社会福祉法人聖ヨハネ会では第三者委員会を独自で設置した。
- ・ メンバー：第三者委員 (配食ボランティア、いっぷくカフェボランティア、地域の代表)、オブザーバー (小金井市介護福祉課)、栄養部 (課長、係長、食の自

立支援事業コーディネーター)、センター長

- ・開催頻度：年2回（7月、11月開催）
- ・内容：食の自立支援事業の実施状況報告、サービス業務の改善取組み、苦情対応報告、配食試食会などを通して、本事業の健全な運営に必要な意見交換を行い事業運営に役立てている。

※2020年度の食の自立第三者委員会第1回では「2019年度末に実施した満足度調査」について報告した。概ね満足して頂けているとの結果を報告し、委員の方にご意見をいただいた。第2回では「新型コロナウイルス感染対策について」報告した。現場で実施している取り組みや対応策について紹介しご意見をいただいた。

④食の自立担当者会

- ・日時：2020年9月（2回実施）
- ・内容：コロナ禍での活動会食会の実施方法について協議し、活動会食に代わる運動を取り入れたお茶会への変更と運動の内容・配布物の作成について話し合いを行う。毎日型配食の対応について協議

(2) 自衛消防隊活動

①自衛消防訓練の実施・報告

- ・内容：避難訓練（年6回）、通報訓練、web171訓練（年4回）消火訓練（年2回）
毎回計画書と報告書を消防署に提出している。
- ・参加者：デイサービス職員、栄養部職員

②高齢部門防災員会（毎月第1水曜日 14時半～15時）

- ・各施設防災訓練報告
- ・三施設合同防災訓練計画・実施
- ・BCPに必要な初期対応マニュアル、緊急連絡網、備蓄品などの整備・更新状況の確認

③普通救命講習受講

- ・受講者なし

④救急医療災害支援情報キット申請窓口の継続

(3) 建物設備

- *2階給湯室給湯器修理（7/13）
- ・建物外壁赤外線調査（7/16、9/3）
- ・特殊建物設備点検（7/29）
- *WEB会議環境づくり（コロナ対策）（7月）
- *AED更新（7/22）
- *2階冷蔵庫搬入（8/4）
- *電動自転車購入（8/17）都感染症対策助成事業
- *コンビオープン修理（8/31）
- *乾燥器入替（9/1）
- *3階パイプシャフト室排気管修繕工事（9/18）
- *トイレ・ベッド周囲カーテン・レール取付工事（9/20）都感染症対策助成事業
- *網戸全館交換（9/25～10/2）小金井市
- *オーニング張替工事（10/1）
- *建物劣化調査（10/15）小金井市
- *全車輛無線のデジタル化（10/20）
- *タオルウォーマーの設置（10/27）
- *非常口漏水修繕工事（10/27～11/21）
- *介護用チェア、テーブルの入替（11/22）都感染症対策助成事業
- *エレベーター防災シャッター手動閉鎖装置改修（12/14）

*更衣室水道工事（12/24）

（４）感染症予防取組み

①感染症対策委員会、安全衛生委員会の活動

- ・感染症研修開催・参加（10月・12月 自施設研修）
- ・感染症シュミレーション研修開催・参加（自施設研修）
- ・手洗いチェッカーによる手洗いチェック実施
- ・ノロキット配備（車輦・建物）
- ・次亜塩素消毒薬による建物設備消毒実施
- ・ノロキット用塩素消毒薬の毎日交換実施
- ・メディカルマスクの購入配布（職員ならびに利用者が必要時配布）
- ・インフルエンザ予防接種・検便検査実施

*COVID-19 への高齢福祉部門 3 施設の情報共有・対応検討・方針決定・経営会議への提案

②感染症予防環境対策

- ・エタノール手指消毒液（濃度 75%以上）の確保
 - ・消毒用次亜塩素酸ナトリウム液・タブレットの確保
 - ・マスクの確保
- *入館カードの記入
- *送迎検温表の作成実施
- *2021 年度 社会福祉士実習生受け入れ方針の決定
- *電動自転車の購入（8月）
- *トイレやベッド周囲のカーテンレールおよびカーテン設置（9月）
- *湯呑の追加購入（生活 Vo 受入休止期間対応）
- *乾燥機、乾燥機台の入替（9月）
- *全館網戸交換（9月）
- *新型コロナウイルス感染症予防対応マニュアル（通所介護編）の作成（10月）
- ・害虫防除作業委託（6月～9月）
 - ・加湿器の設置、定期清掃
 - ・朝礼時の注意喚起（健康チェック、マスクエチケット、手洗い、手指消毒、うがい）
 - ・入館ルールの徹底（手指消毒薬の配備と案内掲示）

③感染症対策研修開催と参加

（５）事故災害対策

①労災事故

- ・なし

②介護事故

- ・転倒事故 2 件、転倒骨折事故 1 件 計 3 件

③ヒヤリハット

- ・49 件

④車輦事故

- ・対人事故 1 件

⑤苦情

- ・なし

⑥配食車輦の整備

*2021 年度全台(3 台)入替の予算化

⑦介護事故予防

- ・OJT で KYT（危険予知トレーニング）を実施（介護・運転）

3) 地域との共生

(1) 認知症に強い街づくりへの取組み

① みんなの安心ささえ愛ネットワーク

- ・定例会：毎月第3月曜日 14時30分～16時（コロナのため Web 会議に変更し実施）

② コミュニティー形成推進意見交換会

- ・東京都の「セミナー農園」立ち上げのための定例会議へ参加

③ 認知症を支える介護者の集い

- ・開催日：毎月第一土曜日 13時30分～15時
- ・内容：認知症を支える在宅介護の経験を分かち合い、学び、気づきを得て、家族介護や自分自身と地域の今後活かしていただく。
- ・対象：当センターにおける家族会は、家族介護者に限定せず、地域で認知症の方の在宅介護の支えとなっている方、支えになりたいと考えている方、認知症サポートに興味関心のある方が自由に参加できるよう門戸を開いている。

※今年度の介護者の集いは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため市とも相談のうえ「電話・メール」相談に切り替え実施した。

- ・開催回数： 11回（5月～3月）
- ・電話相談件数： 36件
- ・メール件数： 1件

④ 認知症デイサービス運営推進会議

- ・開催日：第9回 2020年9月
第10回 2021年3月

※今年度の認知症デイサービス運営推進会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市ならびに関係諸機関とも相談のうえ中止といたしました。

- ・内容：認知症対応型通所介護サービスの事業や当会ならびに部門が提供する諸サービスについて知っていただき、よりよい事業運営、サービス提供を目的としご利用者様、ご家族様、地域の皆様方からのご意見をいただく。
- ・推進委員：センターご利用者ご家族、ボランティア代表、けやき通り商店会代表
きた 地域包括支援センター、本町センター認知症デイ管理者、担当職員。

(2) こがねい介護教室（家族介護者教室）

- ・日時：12月12日（土）13時30分～15時00分
- ・テーマ：「老いに合わせた食事等の工夫について」
- ・講師：西村貴子（本町センター看護師）、永野裕子（桜町聖ヨハネホーム管理栄養士）
- ・参加者：7名（職員除く）

(3) 施設開放

- ・本町2丁目町会活動場所の提供（※コロナのため未実施）
趣味、コーラス、体操、雑学グループ活動
- ・防災協定にもとづく防災倉庫の設置継続・火の用心開始拠点

【施設整備状況】

(1) 概況説明

1998（H10）年10月開設から22年が経過。開設当初の設備備品は部品供給が終了しているため修理不能のため入替が必要な状況。昨年度より引き続き危機的状況にある設備備品は、①1・2階系統冷暖房空調設備（GHP）②屋上防水シート③エレベーター④外壁の4か所である。このうち、④は西側外壁を市の緊急予算で修繕していただいた。

当センターは市の指定管理委託施設で、福祉二次避難所でもある。被災時に建物設備の不具合から事故など二次災害が発生すれば市民に大きな不安を与えかねない。そのため、今後も日頃から市

と連携しながら建物設備の更新は計画的にすすめてゆく。

(2) 主な固定資産 367,000 円

● 令和2年 8月	電動自転車	109,975 円
● 令和2年 10月	パソコン	257,148 円

(3) 主な修繕・設備入替

①本町 C 対応	3,746,394 円	
● 令和2年 4月	自動ドア改造工事	123,530 円
● 令和2年 7月	1号車ヘッドライト交換・フェンダー板金修理	64,955 円
● 平成2年 8月	2F 冷蔵庫搬入	90,200 円
● 令和2年 8月	電動自転車購入	110,475 円
● 令和2年 8月	コンビオープン修理	163,504 円
● 令和2年 9月	衣類乾燥機・乾燥機台一式	93,610 円
● 令和2年 9月	トイレ・ベッドカーテンレール・カーテン取付工事一式	272,409 円
● 令和2年 10月	オーニング張替工事一式	129,800 円
● 令和2年 10月	車輻無線全車デジタル機入替(8台分)	861,300 円
● 令和2年 11月	介護用チェア 42脚、テーブル 4台購入	1,226,060 円
● 令和2年 12月	水道工事(西側駐車場、職員更衣室)一式	59,400 円
● 令和3年 2月	1~2F 非常灯 LED 化工事	65,918 円
● 令和3年 3月	GHP 修理(1.2F 系統室外機)一式	199,650 円
● 令和3年 3月	事務所室内機修理一式	223,583 円
● 令和3年 3月	車椅子(介助型・自走型 計2台)	62,000 円
②小金井市対応	3,948,100 円	
● 令和2年 9月	3階パイプシャフト内排水通気管補修作業(金澤建設)	396,000 円
● 令和2年 7月	自動体外式除細動器購入(済生堂 岡田薬品)	247,500 円
● 令和2年 9月	網戸修繕(小金井シルバー人材センター)	231,200 円
● 令和2年 11月	非常口廻り漏水修繕(金澤建設)	693,000 円
● 令和2年 12月	非常灯交換(1、2、3階)(東京電化装備)	359,700 円
● 令和2年 12月	防湿型非常灯交換(東京電化装備)	115,500 円
● 令和3年 3月	1・2・3階防火シャッター手動閉鎖装置移設(東京電化装備)	451,000 円
● 令和3年 3月	西面外壁タイル剥離修繕	1,454,200 円

【事業状況】(利用実績集計表・利用率の推移)

業別 2020(R2)年度 利用実績集計表 2020年4月～2021年3月 本町高齢者在宅サービスセンター

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
通所介護・一般 日数		26	24	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	307	
23名/日 介護給付 (23人想定)	定員	598	552	598	621	598	598	621	575	575	552	552	621	7,061	
	新規	2	1	0	0	2	3	2	2	0	3	2	0	17	
	終結	1	2	0	2	7	1	4	1	2	3	2	2	27	
	登録数	71	72	65	67	60	64	62	63	61	62	61	57	-	
	実利用者数	64	61	62	61	60	64	61	63	61	61	61	57	-	
	延利用者数	558	523	600	602	590	594	623	562	564	509	519	569	6,813	
	人数/日当	21.5	21.8	23.1	22.3	22.7	22.8	23.1	22.5	22.6	21.2	21.6	21.1	22	
	利用率	93.3%	94.7%	100.3%	96.9%	98.7%	99.3%	100.3%	97.7%	98.1%	92.2%	94.0%	91.6%	96.5%	
	予防給付 (2名想定)	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		終結	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
登録数		4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	-	
実利用者数		2	2	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	-	
延利用者数		18	18	20	23	21	20	23	21	23	19	20	19	245	
人数/日当		0.7	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	
小計	延利用者数	576	541	620	625	611	614	646	583	587	528	539	588	7,058	
	利用率	88.6%	90.2%	95.4%	92.6%	94.0%	94.5%	95.7%	93.3%	93.9%	88.0%	89.8%	87.1%	91.9%	
通所介護・認知症 日数		26	24	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	307	
12名/日	定員	312	288	312	324	312	312	324	300	300	288	288	324	3,684	
	新規	1	0	1	2	1	2	1	1	3	0	1	2	15	
	終結	0	0	2	4	4	2	0	0	1	5	2	0	20	
	登録数	29	29	28	27	25	26	27	28	31	26	27	25	-	
	実利用者数	23	23	24	25	25	26	27	28	28	26	24	25	-	
	延利用者数	251	233	250	239	253	241	265	241	244	215	217	253	2,902	
	人数/日当	9.7	9.7	9.6	8.9	9.7	9.3	9.8	9.6	9.8	9.0	9.0	9.4	9.5	
	利用率	80.4%	80.9%	80.1%	73.8%	81.1%	77.2%	81.8%	80.3%	81.3%	74.7%	75.3%	78.1%	78.8%	
	通所介護合計		89	86	89	89	88	93	91	94	93	90	88	85	-
	延利用者数		827	774	870	864	864	855	911	824	831	743	756	841	9,960
※通所介護全体利用率		86.0%	87.2%	90.4%	86.5%	89.8%	88.9%	91.2%	89.1%	89.8%	83.7%	85.1%	84.2%	87.7%	
家族介護者教室										1				1	
利用者数										7				7	
認知症高齢者家族交流		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
利用者数		0	2	4	4	3	4	3	3	3	4	3	3	36	
食の自立支援事業 日数		25	23	26	25	25	24	27	23	24	23	22	26	293	
80人/日 ①②③⑤	定員	2000	1840	2080	2000	2000	1920	2160	1840	1920	1840	1760	2080	23,440	
	延食数	2182	1987	2243	2084	2055	1982	2333	2026	2107	2007	1871	2168	25,045	
	利用率	109.1%	108.0%	107.8%	104.2%	102.8%	103.2%	108.0%	110.1%	109.7%	109.1%	106.3%	104.2%	106.9%	
	①配食サービス		217	216	210	203	208	211	218	219	220	219	218	207	-
	実利用者数		195	189	189	185	187	185	195	194	198	198	190	186	-
	延食数		2172	1982	2237	2079	2050	1972	2328	2021	2102	1989	1857	2163	24,952
	食/日当		86.9	86.2	86.0	83.2	82.0	82.2	86.2	87.9	87.6	86.5	84.4	83.2	85.2
	利用率		108.6%	107.7%	107.5%	104.0%	102.5%	102.7%	107.8%	109.8%	109.5%	108.1%	105.5%	104.0%	106.5%
	②緊急配食		1	0	1	0	0	1	0	0	0	3	2	0	8
	延食数		5	0	1	0	0	5	0	0	0	13	9	0	33
③活動会食サービス		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
延利用者数		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
④いっぶくカフェ (閉じこもり防止)		1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7	
延利用者数		5	5	5	5	5	5	5	0	0	0	0	0	35	
⑤栄養マネジメント (自立推進クラブ)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
延利用者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑥調査・ケアプラン		11	3	4	6	8	9	7	4	7	5	4	6	74	
高齢者見守りサービス		1	1	0	1	0	1	3	3	3	1	1	2	17	
パーチャタイム(自費)		1	3	0	1	0	1	4	3	5	1	1	3	23	
地域社会支援①		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
元気です本町2丁目会等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日常生活支援		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
(各種相談対応等)		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
ボランティア活動		3	0	6	12	13	18	16	18	19	3	0	3	-	
延人数		3	0	17	36	39	39	43	37	41	3	0	3	261	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	

【教育研修一覧】

2020年度 本町高齢者在宅サービスセンター 研修計画・実施一覧表

2021/3/31

日程	分類	研修内容	場所	氏名
2020/4/1	新任研修(理念)	本町センター新任研修(常勤)	本町センター	笹野 洋
2020/4/1	新任研修(理念)	本町センター新任研修(非常勤)	本町センター	吉田 麻里
2020/5/13	相談援助	事例勉強会～T様の事例を通じて～(市村)	本町センター	山極 愛郎 他11名
2020/6/22	認知症ケア	ケア勉強会～回想法の実践～(郷原・長島)	本町センター	山極 愛郎 他7名
2020/7/8	相談援助	事例勉強会～重度者へのコミュニケーション方法を学ぶ	本町センター	山極 愛郎 他9名
2020/8/25	感染症	ケア勉強会～標準予防策～(西村・川村)	本町センター	市村 直子 他9名
2020/9/9	相談援助	事例勉強会～OT様の事例を通じて～(佐藤)	本町センター	山極 愛郎 他9名
2020/10/21	介護技術	ケア勉強会～入浴ケア(宮川・蛭澤)	本町センター	川村 八千代 他9名
2020/11/23	相談援助	事例勉強会～MJ様の事例を通じて～(淵)	本町センター	山極 愛郎 他10名
2020/12/1～2	介護技術	東京都介護職員研修(たん吸引)	新宿区	吉田 麻里
2020/12/8	感染症	高齢者施設における新型コロナウイルス感染予防	本町センター	笹野 洋 他8名
2020/12/9	感染症	高齢者施設における新型コロナウイルス感染予防	本町センター	川村 八千代 他6名
	感染症	高齢者施設における新型コロナウイルス感染予防	自宅学習	淵 妙子 他1名
2020/12/15	感染症	高齢者施設における新型コロナウイルス感染予防	本町センター	野呂 裕 他2名
2021/1/4	新任研修(理念)	本町センター新任研修(非常勤)	本町センター	栗山 まゆ子
2021/3/1	新任研修(理念)	本町センター新任研修(非常勤)	本町センター	斉藤 三和
2021/3/13	相談援助	事例勉強会～YK様の事例を通じて～(瀧村)	本町センター	川村 八千代 他11名

3. 医療部門

I 桜町病院（生計困難者の為に無料・低額な料金で診療を行う事業）

I 事業概況

前年度に大赤字を出す結果となったことから、2020年度は経営改善を第一命題としてスタートすることとしていたが、4月早々に新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」という。）に関する国の緊急事態宣言が発令されるとともに、予算策定時に想定していた以上に COVID-19 が拡大し長く継続した。この結果、患者さんの受診抑制により患者の減少が著しく、入院・外来ともに収入が大きく落ち込み経営に極めて深刻なダメージを受けてしまった。このため、計画した事項のほとんどが未消化又は執行さえすることができなかった。

この間、ヨハネ会の皆さんには病院の経営状況について大変ご心配をいただき、ご支援を賜りながら運営をしてきた。年明けには首都圏に緊急事態宣言が再発令されるという中で、経営の健全化に向け、職員に病院の経営状況を周知・共有しながら経営改善を進める一環として、導入が遅れてしまったが、ヨハネ会の皆様のご理解を得て1月に導入したコンサルタントの支援を受けつつ、これまで手を付け得なかった方策を含め経営改善に取り掛かってきた。COVID-19の大流行という如何ともしがたい状況、患者確保が厳しい状況下にあるが、コンサルタントを効果的に活用しながら、増収を図る取り組みを進めている。

2020年度は次の運営方針の下に運営することとしたが、COVID-19により経営の安定化始め地域連携の拡充など実現することが困難であった。

<2020年度の運営方針>

1. 集患により経営の安定化を実現する
経営改善に特化した経営改善会議等を有効に活用することにより、集患、コスト節減・削減を推進する。
2. 質の高い安全で患者満足度の高い医療の提供を行う
“桜町マインド”で患者満足度の高い医療の提供に努める。
3. 地域の医療機関等との連携の拡充に努める
地域医療連携が当院生き残りの鍵であることを認識して連携の拡充に努める。
4. 管理機能の充実
病院に存在する様々な管理機能を適切に機能させ、病院運営の適切化、効率化を図る。
5. 職員が仕事にやりがいと魅力を感じられる職場作りに努める

1 2020年度の運営状況

(1) 経営状況

2020年度は COVID-19 により病院経営は極めて厳しい状況になってしまった。新年度早々に出された国の緊急事態宣言により、未知の感染症への恐怖心から患者の受診抑制により入・外患者数の落ち込みが顕著となり、年度前半から経営の状況を一段と悪化させる大きな減収、減益となった。

現下の COVID-19 禍の状況にあるが、これまで増収に向けた行動を着実に進め、少しでも資

金繰りをよくする努力をしていくことが最大の課題であると認識して進めてきた。厳しい結果となってしまったが、新年度にも、経営改善計画に予定している難しい改善事項についても正面から向き合って検討することにより、計画を達成できるよう進捗管理をしっかりと行っていく。

(2) 地域の医療機関等との連携

1) 連携の状況

地域の医療機関とは、COVID-19により連携の実績が減少し、また、取り組みができない状況が続いてきた。武蔵野赤十字病院始め近隣の大規模病院からの患者紹介数の減少や逆紹介数の減少の状況が見られたが、少しずつ実績が上がってきた。また、隣接の国分寺市医師会の先生方との連携の手始めとしての、病院の紹介、病院内の案内、懇談等連携の会は残念ながら開催できていない。ただし、既に連携のなかった国分寺市医師会のクリニックからも患者さんの紹介をいただきつつあり、また、国分寺市医師会からは国分寺市民の乳がん検診の要請があり、次年度に向けて開始することとなっている。

なお、集患のためにも市民講座の開催回数を増やして実施する計画であったが、開催ができなかった。COVID-19が治まり開催できるようになるまでは、ホームページや広報誌、連携室だよりを活用した情報提供に努めている。また、病院情報のきめ細かな提供と集患につなげる方策として SNS の活用を企図し準備を進めてきた。新年度早々にはインスタグラムを開始できる予定である。

2) 地域包括ケア病棟の運用

この病棟は、地域包括ケアシステムにおける医療における中核的位置づけを持った病棟、在宅復帰支援病棟として有効に機能している。地域包括ケア病棟を開設して4年目、近隣のクリニックや自宅等からの入院が6~7割、高度急性期病院からの入院も一定数あり、在宅復帰に向けてのリハビリの実施や服薬相談・指導、食事摂取に関する支援も確実に行っており、在宅への橋渡しの病棟としてその役割を果たしつつ運用できている。また、この病棟は、経営に寄与する病棟としてもしっかりと認識できるものがある。2020年度の在宅復帰率78.8%。

2月には増収と地域ケアの循環に今以上の役割を果たすために、南3階病棟の一部病床(46床中の17床)を地域包括ケア病床に転換した。この病床は整形外科の関節疾患の患者を中心とした病床として運用していくこととしている。ただし、一般病床を減じることとなったことにより、入院ベッドコントロールに従来以上に気を遣うこととなったことや北4階の地域包括ケア病棟ともども、施設基準としての在宅復帰率(基準70%)やリハビリ単位(基準2単位)を意識した運用を余儀なくされているが、これまで以上に機能的、効率的な動きができるよう留意して運用を始めている。この病床種別変更などにより月300万円前後の増収を見込んでいる。2ヶ月間の在宅復帰率85.0%と順調である。

3) 在宅診療の状況

当院の在宅診療は、平成30年度にスタートしているが、当院の在宅診療は、がん患者に特化した在宅診療という特色がある。地域包括ケア病棟・病床の入院基本料1を維持する

ための施設基準の一つとして重要な役割を果しつつ自宅で療養を希望するがん患者さんのニーズに答えている。

今年度は、施設基準を維持するための3ヶ月30件以上を目標としていたところ、武蔵野日赤等との連携により、3ヶ月150件ほどの実績を上げている。

4) 認知症疾患医療センターの運営

認知症疾患センターは指定を受けて5年目、これまで鑑定診断実績などが確実に増加していたが、今年度はCOVID-19の影響により患者数が減少し実績が減少している。相談業務（総件数7,251件、前年度比+1,819件）が電話相談が前年度比+1,284件と大幅に増加するなど順調に推移している一方、COVID-19による患者減により認知症鑑別診断（124件、前年度比▲32件）は、減少している。地域の認知症に関するサポート体制の拡充などに寄与する取り組みとしての認知症サポーター研修、認知症認定看護師との連携による認知症講座、スタッフ養成講座への講師派遣、地域連携会議開催（2回）などについてもCOVID-19により実施できなかつたり、減少している。

(3) 無料低額診療

2017年度から社会福祉法人立の病院が税の恩恵を受ける無料低額診療基準が、東京都基準からほぼ国基準の厳しい基準となりこの事業の対象者が狭められた。このため、10%という基準に達することができず、固定資産税等の免除を全面的に受けることができなくなった。

2020年度はMSWの対象患者集患努力と算定の母数となる総患者数が減少したこともあり2020年度は6.757%と若干改善している。

当地域は制度の対象者の大半を占める生活保護の患者が少ない地域であるが、少しでも生保患者の利用が拡大するようMSWを中心に関係機関に働きかけている。一方、2018年度に無料低額診療基準を満たさなかつたことから、そのペナルティーとして固定資産税、都市計画税を支払うこととなり、約600万円の固定資産税等を支払った。

(4) 産後ケア事業の運用、病児・病後児保育室の現状

産後ケア事業は生後4か月未満の乳児を育成している母親で、授乳や育児に不安があるが、ご家族などからのサポートが充分受けられず困っている方が、日帰りや1泊2日の宿泊により休養を取りながらサポートを受けることができる事業である。

産後ケアは病院独自に始めることを模索していたが、ここにきて行政が出産後の母親を支援する取り組みの施策の一つとして動いたのを機に、この施策を裏付けとして事業を開始することとした。制度運用に関する準備を進める中で、行政の補助金を使って病室を改修し、くつろぎやすい環境の整備を終え、2020年10月から小金井市民のために運用を開始した。2020年度利用数6人、10日。

また、2019年11月に開設した病児・病後児保育室は、小金井市保育課と連携してCOVID-19感染を防止するために発熱児の受け入れ制限をしたことや感染を恐れるあまりの申し込み躊躇により実績がほとんどない状況が続いている。

現在の利用登録者数は180人。2020年度利用者数2人。

(5) 職員採用と育成・配置

1) 採用

職種によっては厳しい職員採用環境となっており、長期間補充ができない職種がある。

薬剤師、看護師、看護助手、作業療法士などについては、ハローワークはもとより、人材紹介サイトの活用、また、職種によっては学校訪問を行うなど補充に向け募集採用の努力を続けている。看護助手は応募がほとんどない状況にある。内科医師については、新年度早々に採用の目途がついた。

2) 職員の配置

時間がかかったが内科医師の採用目途が付いたので、平常の診療体制を敷き患者さんのニーズに応えることができるようになることを期待している。

看護師は不十分ながら随時補充できているが、看護助手の配置がままならないために看護師が助手業務を担っている部署もある。

なお、長い間、採用できなかった薬剤師は8月に1名採用、栄養士は9月に1名採用し配置できた。

年度末の職員数：常勤 200 名 非常勤 143 名 嘱託 11 名

3) 計画的な人材育成と教育研修支援

今年度も4月の教育研修委員会において、病院として行わなければならないと考える研修については、月別の年度研修計画を策定したが、COVID-19感染により感染防止対策に係る研修や一部のWeb研修等を除きほとんど集合研修会を開催できなかった。外部研修参加についても、Zoomによる研修などの参加はあったが、出張しての研修への参加は少なかった。

4) 労働環境の整備

働き方改革が進められている中であって、賃金面における改革は病院の経営状況から進めることはできないが、2019年度から義務化された有給休暇5日付与を完全実施することができた一方、非常勤職員にも就業規則を改正して有給休暇の2時間単位分割取得を可能とした。

幾つかの運営の状況に絞って説明したが、今年度は長期にわたる異常事態の中での運営となり、患者が少なく経営的には極めて厳しい年度となった。COVID-19は治まりかける気配もあったが2波、3波という波が繰り返され、年度末には4波の様相を呈するという1年を通じて気の抜けない年度であった。

II 数値計画の達成状況

1 収入

これまで比較的順調に増加していた収入が、2019年度は大きく落ち込んだために、平時の資金繰りにも支援をお願いしなければならなくなった。今年度はこれを挽回したかったが、COVID-19が想定外の拡大をしたために入院・外来ともに患者数が大きく減少し、当初計画した収入を約10%下回ってしまった。

COVID-19の影響を各診療科とも受けている中で、収入は当初計画に対して入院で▲143百万円、外来で▲135百万円となっている。中でも、入院外来合わせて昨年度比で、産婦人科が▲99.9百万円、内科が▲71.2百万円、小児科が▲42.5百万円、外科が28.9百万円、ホスピス科が▲23.3百万円となっている。唯一、整形外科だけが+105.4百万円と好調であった。

なお、今年度は診療報酬の改定が行われたが、当院への影響としては、試算では、入院・

外来ともに0.1%のマイナス改定、年間ベースで300万円ほどのマイナスとなると試算している。

<医療事業活動収入（資金収支計算書）>

医療事業活動収入計画額3,074百万円に対し実績は3,063百万円と▲11百万円の減収となっている。4月以降各月ともに実績が計画を下回り計額減となった。診療収入の他、ドック・健診収入の減も大きい。入院収入は計画に対し▲5百万円、外来収入は計画に対し+4百万円、ドック・健診収入は計画に対し▲28百万円という状況である。

(1) 患者数

入院 予算作成時にはCOVID-19がこれほど猛威を振るうとは思わなかったことから、年度計画は平年度実績並みの155人/日と計画した。月別計画策定時にはCOVID-19が増え始めていたこともあり、年度の初めの計画は抑え気味の計画とした。6月以降は通常の診療に戻ることができるとの思いから6月からの月別計画は通常の計画とした。しかしながら、COVID-19は想定外の拡大により、治まるところを知らずに感染者が増加したことから、受診抑制により患者数は計画数に対し大きく下回る状況が続き、前期では6月と9月が140台となったが、それ以外の月は130台、中でも5月はかろうじて130台という状況であった。後期は140台が続いたが150を超える月はなかった。累計で計画155人/日に対し141.4人/日、計画比▲13.6人/日であった。内科が▲5.8人/日、産婦人科が▲5.5人/日、療養が▲2.6人/日等ほぼ全ての診療科が減少している。そんなで、整形外科は計画比+5.3人/日、昨年度落ち込んだ実績を+6.6人/日と一人好調な数字を残した

外来 外来は入院以上に受診抑制のために患者数の落ち込みが甚だしくなった。計画に対し▲106.9人/日、昨年度比で▲92.2人/日となっている。特に内科は計画比▲34.1人/日、昨年度比▲28.9人/日、小児科は計画比▲31.5人/日、昨年度比▲27.5人/日となっている。

(2) 手術件数

計画手術件数は、月83件の目標に対し実績は70.8件となっており、計画比▲12.2件、昨年度比では▲8.8件。整形外科は順調に経過しており、昨年度を上回っているが、産婦人科の手術数の減少が顕著であり、昨年度比▲8.0件/月と平成27年度の39.7件/月以来の30件台となった。産婦人科は分娩件数の減少と合わせ懸念すべき状況にあると考えている。眼科は年度当初COVID-19のために手術を控えていたが、6月以降はこれまで以上の実績を残し、昨年度を上回る実績となっており順調に推移している。

高齢社会にあり、脊椎や関節などの整形外科疾患、白内障などの眼疾患の手術を増加させていく方針である。

(3) 分娩件数

分娩は月25.5件となっており、昨年度に比べ月4.5件減少している。厚労省も予測しているように、少子化に加えCOVID-19禍での出産数が減少しており2020年の国内での出生数は85万人割れとなっている。当院の分娩数は前年度の360件を下回り306件となった。この減少は収入額の減少の大きな要因の一つとなっている。

10月から小金井市の産後ケア事業を行うこととなり、分娩に伴う周産期のケアを一層広範囲に行うこととなった。また、産婦人科の医師が近隣医療機関に挨拶回りをするこ

とやJR武蔵小金井駅構内で相談コーナーを開くことを決めた。このような取り組みから少しでも当院での出産を希望される方や産婦人科の手術で受診される方が増えることを期待している。

(4) ドック・健診事業

年度始め早々に緊急事態宣言が出された。行政からドックや健診の実施制限が出されたのを受け中止したが、緊急事態宣言が解除されドック、検診ともに6月には再開した。しかしながら、ドック・健診を担当している内科の医師の体制が整わなかったことや密を避ける配慮をしつつ行うということもあり、実施数を抑えて行ってきた。ドックは前年度比6割弱、健診は前年度比6割程度の実績となった。

次年度に向け内科の医師補充が見込めたので、次年度は感染予防に配慮しつつ、市民の受検要望に応えるためにも、平年度ベースに近い形で実施していくことを目指している。

(5) 診療単価

入院 累計診療単価 39,129 円は計画を 809 円、昨年度を 544 円上回っている。内科は 30,415 円と計画を 72 円、昨年度を 310 円、整形外科は 47,809 円と同じく 1,127 円、668 円、産婦人科は同じく 11,099 円、5,745 円、眼科は 101,686 円と同じく 17,280 円、4,375 円上回っている。眼科や産婦人科は計画を大きく上回った。両科ともに手術の種類により診療単価は大きく変動する。全体的に高い診療単価となった。

外来 計画比+1,004 円、昨年度比+833 円となっている。訪問診療の実績が伸びており、外来全体の診療単価を 361 円押し上げている一方、12 月から開始した PCR 検査実施料も単価アップの要因となっている。

COVID-19 で患者数が減少している一方、診療単価は入院・外来ともに高く維持できている。

2 支出関係

(1) 支出

収入が減少していることから支出については、これまで以上に収入見合いの支出に努めてきた。機器更新は故障対応による更新など一部を除き年度計画した機器、修繕等についても、緊急整備を要するものを除き整備を控えた。その他の支出についても抑制に努めている。大きな削減項目としては、従業員組合の理解を得て職員の賞与を大幅に削減した。時間外勤務はそれ程多くはないが、部署ごとに業務整理や手順の見直しなどを行い、時間外勤務の削減の取り組み継続中である。

*LED化

2019年に照明器具の75%程のLED化を終えたが、残りは2020年度に終了した。試算上では年間200万円ほどの節電ができると見込んでいるが、当面は、リース支払いがあるために大きな支出減とはならない。ただし、リース契約7年を超え、使用可能な10年まで使用することにより4000万円を超える電力料の削減ができると見込んでいる。

*収入見合いの支出、診材等のコスト削減

2019年度から収入の落ち込みがあったことから、これまで以上に支出については抑制的に行った。診材等を耐用年数に囚われず、安全を確認しながらできるだけ長く使用し

てもらおうようにしていることもあり、経年劣化による故障により修理不能となったものの更新やディスク製品の消費支出もあるが、ムダになるもの、過剰となるものは購入しないよう管理してきている。また、薬品については、徐々にジェネリック薬品の採用を拡大して経費の節減に努めている。

<医療事業活動支出（資金収支計算書）>

医療事業活動支出計画額 3,066 百万円に対し、実績は 3,062 百万円と 4 百万円の減となっている。計画内での支出となった主な要因は賞与支給額を抑えたことや計画した機器等の整備を見送ったことが大きい。収入が伸びない中であって、職員には支出の削減の徹底を要請するとともに、賞与支給額の減、時間外勤務の削減等により支出額の削減を図ってきた。

3 収支状況

COVID-19 の拡大が続いているために、患者の受診抑制により入外患者数、特に外来の落ち込みが顕著であり、経営状況を悪化させる大きな減収、減益となった。

<経常活動資金収支差額（資金収支計算書）>

経常活動資金収支差額は計画 8.4 百万円に対し▲1 百万円と計画減となっている。

III 機器整備、施設設備改修

1 機器の整備

2020 年度は、更新時期を経過しているもの、今日の医療レベルからして整備の必要なもの等その必要性や緊急性、費用対効果について精査し、整備費として 5.0 千万円を計画したが、収入減が甚だしくなったために、計画した機器等についても、早くから更新に向け準備していた電子カルテハードの更新や修理対応できない診断機器等を除き整備することを控えた。ただし、COVID-19 対策費として行政からの補助金を充てることができるものは若干整備した。

2 施設・設備の改修等

施設・設備の整備についても、昨年度に引き続きエアコンの入れ替えとして、病院本館南棟のエアコンの入替やホスピス棟北ウイングのエアコン入替等として 3.0 千万円を計画していたがほとんどのものの実施を控えた。故障対応とした。

施設・設備の改修等についても COVID-19 対策費として行政からの補助金を充てることができるものは若干整備した。

IV さくらまち保育所

さくらまち保育所は、常勤保育士 2 名、その他の勤務契約の保育士 3.3 名（常勤換算）の体制で 1 日平均保育児数 4.76 人の保育を行った。保育所を利用した児童実数は 24 人で、平日保育の他、24 時間保育 64 回、休日保育 30 回を行った。

V 桜町児童ショートステイ

桜町児童ショートステイは、常勤保育士 5 名、非常勤保育士 2 名の体制で、COVID-19 対策をしつつ、安全確保を重視した運営をした。従来補助要員として採用して使ったアルバイト学生は感

染防止の観点から採用しなかった。短期入所 324 人及び日中一時支援 111 人の支援を行った。

2015 年度より学区域の市にあたる小金井市、武蔵野市、小平市、西東京市による 4 市連携での支援は今年度も継続され、安全な通学支援をはじめとした体制作りについて保護者を含めた関係者で話し合いを行った。

VI 病児・病後児保育室（さくらんぼ保育室）

さくらんぼ保育室は、開設から 2 年目であるが、COVID-19 の流行により行政からの利用控えと慎重な受け入れ要請があり、利用実績ほとんどはなかった。担当職員は、さくらまち保育所との兼務の保育士、外来看護師、小児科医師が携わっている。利用実績は延べ 2 人である。

【2020 年度活動状況報告】

種別	許可病床数	患者数/日	延患者数	利用率 (2020 年度)	利用率 (2019 年度)	利用率 (2018 年度)
入院	199 床	141.4 人	51,600 人	71.0%	74.6%	77.7%
外来	—	275.1 人	80,885 人	—	—	—

平均在院日数	26.3 日 一般のみ 19.1 日 ホスピス 37.7 日 療養 427.9 日
新入院患者数	1,970 人 (前年度 2,483 人)
退院患者数	1,952 人 (前年度 2,496 人)
時間外患者数	248 人 (前年度 716 人)
紹介率・逆紹介率	紹介 19.5% (前年度 15.1%) 逆紹介 21.5% (前年度 16.3%)
手術件数	856 件 (前年度 955 件)
全麻件数	562 件 (前年度 462 件)
分娩件数	306 件 (前年度 360 件)
人間ドック件数	入院 0 件 (前年度 0 件) 外来 396 件 (前年度 688 件)

【無料低額診療】 上段：2020 年度 下段：2019 年度

1. 受診人数

新規実人数	継続実人数	実人数計	延べ受診人数
19	9	28	132
27	8	35	175

2. 診療科別件数

内科	精神科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科
48	24	1	11	21	3	24
59	24	0	17	45	1	29

3. 依頼者別件数

福祉事務所	社会福祉協 議会・福祉 公社	難民支援	ホームレス 支援団体	他病院	その他	合計
29	57	14	0	0	32	132
39	80	31	0	0	25	175

【職 員】 2020年度年度始め・年度末職員数及び退任・就任状況

区分	2020年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2021年3月31日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	嘱託	正職員		非常勤職員		嘱託		正職員	非常勤職員	嘱託
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
院長	1									1		
副院長	2				1					2		
医師	21	48	4	8	6	9	14			21	40	3
助産師	10	8		2	2	1	2			9	7	
看護師	79	49	1	13	11	14	8	1	2	75	50	2
准看護師	1	3		1			1			2	3	
看護助手	11	2	2		4	2			1	7	4	1
薬剤師	5	2		1			1			6	1	
放射線技師	7		1	1	2				1	6		
臨床検査技師	8	2	1	1		1	2		1	9	1	
PT・OT・ST	13	5		1	2	1	21			12	4	
栄養士	7		1	2	1					6		1
MSW	6			1						6		
事務部	23	11	1	1		2				22	13	1
施設	2		1							2		1
その他	14	21	2	1	3	4	6			14	20	2
合計	210	151	14	32	33	34	36	1	5	200	143	11

注：就任・退任数には4月1日就任数及び3月31日退任数を含む

事務部の人数は（事務部長・総務課・経理・医事課）

その他の人数は（看護部長室・ORT・診療技術部助手・調理師・調理員・心理士・保育士等）

【患者動向】

2020年度診療科別患者状況

区 分	入 院		外 来	
	一日平均患者数 (人)	一日平均診療単 価 (円)	一日平均患者数 (人)	一日平均診療単 価 (円)
内科	35.2	30,415	100.9	8,284
	39.9	29,754	129.8	7,257
精神神経科	—	—	29.5	5,697
	—	—	38.5	5,310
小児科	1.6	32,426	27.9	5,131
	1.9	32,474	55.4	5,059
外科	7.6	29,803	15.9	6,362
	8.5	34,193	18.9	6,246
整形外科	35.3	47,809	41.0	8,829
	28.7	46,685	55.4	8,478
産婦人科	12.5	88,595	32.9	6,847
	16.4	82,022	41.8	6,580
眼科	1.0	101,686	22.7	5,891
	1.1	98,464	28.7	6,017
ホスピス科	13.7	46,937	4.4	25,569
	14.7	46,574	2.8	15,731
ホスピス内 科	1.1	34,253	—	—
	2.9	29,164	—	—
療養	34.4	18,155	—	—
	33.4	18,218	—	—
計	141.4	39,129	275.1	7,562
	148.5	38,585	367.3	6,729

注：上段 2020年度 下段 2019年度

【2020 年度機器等整備状況】

機 器 等 名	数量	新設・更新・増設・ 修繕	整備部署
超音波診断装置	1	更新	産婦人科
骨密度測定装置	1	更新	放射線科
電子カルテシステム等機器更新	1	更新	診療情報管理室
無線 LAN 更新	1	更新	診療情報管理室
全自動身長体重計	1	増設	南 3 階病棟
サーマルカメラ	1	新設	外来
発熱外来用ドームテント	1	新設	外来
発熱外来用三角テント	1	新設	外来

【2020 年度施設・設備整備状況】

改修・修繕（修理）・模様替え・補修
産後ケアに係る病室改修工事
ゾーニングのためのドア新設工事
ホスピス病棟冷温水発生器冷却塔冷却ファン整備

【2020 年度教育研修実施状況】

研修名（研修タイトル）	年月日	開催場所	出席者数
個人防護具の正しい着脱	2020. 5/18～ 5/22	第 1 会議室	63 名
〃	2020. 5/25 ～ 5/29	〃	60 名
〃	2020. 6/8～6/12	〃	16 名
〃	2020. 6/15～6/19	〃	11 名
新型コロナワクチン「コミナティ」について	2021. 3/5、 3/12、3/19	第 1 会議室	38 名
新型コロナワクチン「コミナティ」について		e-ラーニング	217 名
転倒・転落動画研修	2020. 11/17, 11/19	図書室	23 名
個人情報保護法への医療機関の対応	2021. 3	講義資料配布・回答	141 名

注：その他計画していた集合研修は、COVID-19 感染防止を考慮して開催しなかった。

<2020 年度さくらまち保育所>

項 目	実 績
保育児数	保育児延べ数 1,524 人（前年度 1,498 人）
	平日 1,456 人、休日 68 人（前年度平日 1,442 人、休日 56 人）
24 時間保育	延べ回数 64 回（前年度 12 回）
	延べ保育児数 126 人（前年度 17 人）
職員数	延べ数 1,437 人（前年度 1,395 人）
行事等	定期健康診断 5 月、11 月

<2020 年度桜町児童ショートステイ>

項 目	実 績
短期入所 利用者数	324 人（前年度 370 人）
利用日数	803 日（前年度 1,029 日）
日中一時支援利用者数	111 人（前年度 142 人）
利用日数	186 日（前年度 215 日）
利用者住所地	小金井市、小平市、西東京市、武蔵野市

<2020 年度病児病後児（さくらんぼ）保育室>（2019.11.21 開設）

項 目	実 績
保育児数	保育児延べ数 2 人（前年度 23 人）
職員数	延べ数 2 人（前年度 38 人）

4. 公益事業部門

I 小金井訪問看護ステーション（訪問看護）

【2020年度利用状況報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
医保利用者	12	12	11	11	8	7	9	8	8	7	7	7	9
訪問件数	63	47	66	74	30	33	42	41	44	40	41	39	47
介保利用者	37	38	42	43	42	38	34	35	36	35	32	37	37
訪問件数	190	167	205	218	191	166	174	150	178	137	134	187	175
介護予防者	4	4	5	5	5	5	5	7	7	4	6	6	5
訪問件数	16	15	23	26	22	23	25	28	30	19	23	26	23
(訪問リハ件数)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
訪問件数全体計	273	229	294	318	243	222	241	219	252	196	198	239	245

【職員】

	2020年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2021年4月1日 の職員数			
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計	
	就任	退任	就任	退任	就任	退任	就任	退任	就任	退任	正職員	非常勤職員	合計
所長	1名		1名								1名		1名
看護師	3名	2名	5名		1				1		2名	2名	4名
合計	4名	2名	6名		1				1		3名	2名	5名

【施設運営状況】

- ・2020年度は新型コロナの影響が大きい年であった。感染対策を行いながら訪問を継続すること、発熱した利用者への訪問を行うことなど、スタッフ一同緊張感を持ちながらの日々であった。そのような中、昨年度から24時間対応を行うことでガン末期、老衰の方への看取りの支援を行うことができた。また小金井市近隣の訪問診療専門の医療機関とは、8か所（前年6か所）の診療所等と支援にあたるなど地域の医療機関との連携は増えている。しかしこれまで行っていた訪問リハビリ（桜町病院リハスタッフ派遣）が感染予防の観点から5月以降中止になったこと、桜町病院依頼の利用者が減ったことから訪問件数の減少となった。病院併設のステーションの役割は連携のとりやすい関係から退院時スムーズに在宅支援にあたることにあるが、感染予防のため十分な連携に至らなかったように感じる。感染対策は今後も必要なことであるため効果的な連携の工夫や訪問リハビリ再開についてなど、検討することが必要と考えている。8月に常勤者の定年退職を迎え1名欠員となるが、新規の利用者獲得が少ない状況にあるため補充は来年度に行うこととしている。看取りの場面では休日・夜間の対応が増えるため職員への負担は大きく、ターミナル患者を受けるためには常勤者の補充は必須である。

- ・今年 Wi-Fi の設置、補助金を利用しパソコンの購入などインターネット環境を整えることで、Web 研修、地域の医療従事者との Web 会議など行うことができた。自分の空いた時間を利用して研修に取り組めるなど良い面があった。
- ・事務作業の負担については毎年の課題であるが、経理面については本部のご支援を受け負担は軽減している。日々の事務作業・レセプト作業については、訪問の合間に行うため入力ミスやレセプトに関する知識不足から返戻などの問題も大きい。

【利用者支援状況】

1. 利用者数（年間登録者）… 80 名（男 23 名 女 57 名）（前年度 90 名）
2. 利用者の住所…小金井市 79 名 小平市 1 名
3. 主治医（利用者 80 名）
桜町病院 35 名（前年度より-8 名）
その他の医療機関病院 13 名（前年度より-4 名）・市内の開業医院 17 名（前年度より+1 名）・他市の開業医院 2 名（前年度同じ） 訪問診療 13 名（前年度より+1 名）
4. 新規利用者紹介もと
2020 年度新規利用者 25 名（前年度 41 名）

包括	ケアマネ	医療機関	市役所	その他
3	17	5	0	0

※桜町病院依頼 11 名
（前年度 22 名）

5. 訪問終了者 32 名（前年度 35 名）
終了理由

死亡	入院	特養・グループホーム	有料ホーム	老人保健施設	他 ST へ移行	その他
10	6	3	2	3	3	5

【教育研修】

- ・コロナ感染症予防のため研修受け入れは中止
- 職員研修・オンライン研修

研修名	年月日	主催	出席者
訪問看護ビギナーズ研修	5/28-7/14	野村訪問看護ステーション	八木里江子・丸茂やすえ
在宅難病訪問看護	8/8-8/28	東京都福祉保健局	丸茂やすえ
パーソンセンタードケア	9/4	桜町病院	丸茂やすえ・八木里江子
看取り講演会	12/1.12/7	小金井医師会	宮川由美子
メンタルヘルスケア	12/4	ステーション内	スタッフ全員
認知症の理解	2021.1/22	桜町病院資料	丸茂やすえ
気管カニューレ管理	2/12	都立神経病院	丸茂やすえ
医療に係る法的問題	2/16	白十字訪問看護ステーション	丸茂やすえ
在宅ホスピスを考える	2/19	川越クリニック	宮川由美

II 聖ヨハネホスピスケア研究所

【2020年度活動状況報告】

年度初めから、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ボランティア活動も自粛することを決め、音楽療法についても緊急事態宣言の発出を受けて、活動を自粛することとした。

ホスピスセミナー、講演会、ボランティア講座、研修会などの活動もすべて中止することとなった。

2021年度については、このような状況を踏まえて、1年間の活動休止を理事会で決定した。

【職員】

特になし。

【施設運営状況】

特になし。

【施設整備状況】

特になし。

5. 収益事業部門

施設名 : シニアハイムさくら (高齢者賃貸住宅)

【施設運営】

小金井の地で医療・介護・福祉サービスを展開している中で、入院や特養入所にいたる前の段階で小規模でも安心して生活できる場の形成が必要との考えから、高齢者賃貸住宅を提供することの意義があると考え本事業をスタートし7年目を迎えた。地域包括ケアシステムを構築する過程で老後を自宅又は小金井市内にて居住したいとの要望は大変高いが、全くの在宅独居の生活は不安だという高齢者の方の住まいが求められており、高齢福祉部門としても介護保険事業だけでは本来目指そうとしている高齢者の安心につながるサポートを充実できないという考えでこの事業を開始した。対象者は自立された方で在宅介護サービスを利用し自立生活可能な方とし、介護スタッフは配置せず管理人を配置し、ケアマネジャーは桜町ケアマネジメントセンターが基本的に受け持つという基本方針で進めることとなった。

これまでの経験から、利用者の前住居の整理、荷物の取捨選択といったところに時間をかなり要することがわかってきた。また入居後に身体の衰えなどで特養への入所に移ってしまうケースも予想していた以上に多いということがわかった。今後は積極的な入居は行わないこととしたい。

【2020年度利用状況報告】

種別	定員	1日平均利用者数	2020年度利用率
シニアハイムさくら	5室	1名	20.0%

【施設整備状況】

特になし

三 理事会

第 318 回 2020 年 5 月 13 日（水）決議の省略の方法による

(1) 決議事項

第 1 号議案 遺贈の放棄の承認の件

第 2 号議案 緑町聖ヨハネケアビレッジ新築工事の契約書の承認の件

第 319 回 2020 年 6 月 5 日（金）決議の省略の方法による

(1) 決議事項

第 1 号議案 2019 年度監事監査報告の承認の

第 2 号議案 2019 年度事業報告及び計算書類等の承認の件

第 3 号議案 他法人（聖ヨハネ修道会）からの借入の承認の件

第 4 号議案 定時評議員会の招集事項決定の件

(2) 報告事項

報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告(2019 年度下半期実績報告)

第 320 回 2020 年 7 月 7 日（火）

(1) 決議事項

第 1 号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 小金井聖ヨハネ支援センター運営規程

(2) 小金井聖ヨハネワークセンター運営規程

第 321 回 2020 年 8 月 5 日（水）

(1) 決議事項

第 1 号議案 諸規程の制定及び改訂の件

(1) 法人本部就業規則

(2) 法人本部在宅勤務規程

(3) 運営協議会運営細則

第 2 号議案 障害者支援施設 I C T 機器導入に関する契約の承認の件

第 3 号議案 定款変更認可申請の承認の件

第 4 号議案 評議員会の招集事項決定の件

第 5 号議案 桜町病院の資金確保のための対策の件

第 322 回 2020 年 9 月 17 日（木）

(1) 決議事項

第 1 号議案 評議員選任・解任委員の退任及び選出の承認の件

第 2 号議案 桜町病院の在り方検討の件

第 323 回 2020 年 10 月 1 日 (木)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件
(1)障害福祉部門 Facebook 開設及び運用規則
- 第 2 号議案 会計システムのクラウド化の件
- 第 3 号議案 桜町病院の在り方検討の件

第 324 回 2020 年 10 月 28 日 (水)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 会計システムのクラウド化の件
- 第 2 号議案 桜町病院の在り方検討の件

第 325 回 2020 年 11 月 18 日 (水)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 2020 年度補正予算の承認の件
- 第 2 号議案 桜町病院の在り方検討の件
- 第 3 号議案 評議員会の招集事項決定の件

(2) 報告事項

- 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について (上半期実績報告)
- 報告事項 2 会計システムのクラウド化の件

第 326 回 2020 年 12 月 23 日 (水)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件
 - (1) 内部監査規程
 - (2) 法人組織規程
 - (3) 看護介護休暇に関する就業規則等
 - (4) 緑町聖ヨハネケアビレッジ・短期入所運営規程
 - (5) 小金井聖ヨハネケアビレッジ運営規程
 - (6) 富士吉田聖ヨハネケアビレッジ運営規程
 - (7) 障害福祉部門組織図
 - (8) 障害福祉部門表彰・懲戒委員会規程
 - (9) 障害福祉部門公益通報者の保護に関する規程
- 第 2 号議案 桜町病院の在り方検討の件
- 第 3 号議案 高齢福祉部門の将来計画と桜町聖ヨハネホームの大規模修繕計画の件
- 第 4 号議案 施設長の人事の承認の件

(2) 報告事項

- 報告事項 1 第 102 回評議員会の協議内容報告の件
- 報告事項 2 桜町病院内部監査の件

第 327 回 2021 年 1 月 20 日 (水)

(1) 決議事項

第 1 号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 内部監査規程

(2) 法人組織規程

第 2 号議案 桜町病院の在り方検討の件

(2) 報告事項

報告事項 1 桜町病院内部監査の件

第 328 回 2021 年 2 月 17 日 (水)

(1) 決議事項

第 1 号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 法人本部組織規程

第 2 号議案 桜町病院の在り方検討の件

第 3 号議案 桜町聖ヨハネホーム大規模改修の件

第 4 号議案 聖ヨハネホスピスケア研究所事業の件

(2) 報告事項

報告事項 1 桜町病院内部監査の件

報告事項 2 桜町聖ヨハネホーム利用者に関する報告の件

報告事項 3 桜町聖ヨハネホーム業務アセスメント報告の件

第 329 回 2021 年 3 月 17 日 (水)

(1) 決議事項

第 1 号議案 2021 年度事業計画及び予算の承認の件

第 2 号議案 施設長等人事の承認の件

(1) 桜町病院看護部長

(2) 小金井聖ヨハネ支援センター長

(3) 小金井聖ヨハネワークセンター長

第 3 号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 法人本部組織規程

(2) 障害福祉部門運営規程類

第 4 号議案 評議員会の招集事項決定の件

(2) 報告事項

報告事項 1 桜町病院の在り方検討の件

報告事項 2 桜町聖ヨハネホーム業務アセスメント報告の件

報告事項 3 城山聖ヨハネケアービレッジ賃貸借契約解約の件

四 評議員会

第100回 2020年6月22日(月) 決議の省略による

(1) 決議事項

第1号議案 2019年度計算書類等の承認の件

第2号議案 社会福祉充実残額の承認の件

(2) 報告事項

報告事項1 2019年度監事監査報告の件

報告事項2 2019年度事業報告の件

第101回 2020年8月21日(金)

(1) 決議事項

第1号議案 定款変更認可申請の承認の件

第102回 2020年12月4日(金)

(1) 決議事項

第1号議案 2020年度補正予算の承認の件

(2) 報告事項

報告事項1 桜町病院の在り方検討の件

第103回 2021年3月26日(金)

(1) 決議事項

第1号議案 2021年度事業計画及び予算の承認の件

第2号議案 聖ヨハネホスピスケア研究所事業の件

(2) 報告事項

報告事項1 理事会報告の件

五 経営会議

2020年4月22日（水）開催

【議案】

- (1) コロナ感染等の状況について
- (2) 収入（利用率）の状況について
- (3) 職員体制の状況について
- (4) Zoom の設定について

2020年5月27日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年3月）について

【議案】

- (1) 新型コロナウイルスに感染した場合の労災取り扱いについて
- (2) 特別手当について
- (3) 事務管理（経営管理）機能の組織化について
- (4) 桜町ヨハネ祭の開催について

2020年6月24日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年4月度）について
- (2) 理事会・評議員会報告

【議案】

- (1) 各事業の収入（利用）状況について（2020年4月度）

2020年7月22日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年5月度）について

【議案】

- (1) 小金井市コロナ運営補助金について
- (2) 法人内施設利用者の病院受診等について（確認）
- (3) 助成金の使途について（昭和会館、霞会館）
- (4) 経営管理機能の強化について
- (5) 火災保険の更新について

2020年8月26日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年6月）について
- (2) 車両保険の更新について
- (3) 火災保険の更新について

【議 案】

- (1) 会計システムのクラウド化について
- (2) 消費税の計算方法について
- (3) 桜町病院の状況に関する協議について
- (4) 新型コロナウイルス陽性者発生時の対応について（確認）

2020年9月23日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年7月）について
- (2) 理事会報告について

【議 案】

- (1) 会計システムのクラウド化について
- (2) 補正予算スケジュールについて
- (3) 障害福祉部門 Facebook について
- (4) 車両保険への加入について（障害福祉部門東京）

2020年10月28日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年8月）について
- (2) 寄付金内訳報告について

【議 案】

- (1) かわら版について
- (2) LED化の効果について
- (3) Facebook の活用について

2020年11月25日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年9月）について
- (2) 新型コロナウイルス関連の山梨事業所からの報告

【議 案】

- (1) マスク等の衛生材料について
- (2) Microsoft365 について
- (3) 就業規則・給与規程について

2020年12月23日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年10月）について
- (2) 理事会報告

【議 案】

- (1) 年金事務所調査結果について
- (2) 各種別の経営状況について

(3) 理事長年頭挨拶の中止について

2021年1月27日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年11月）について

【議案】

- (1) 諸規程の制定及び改訂について
(2) クレジットカードの取り扱いについて
(3) 新型コロナウイルスに関する緊急入院の取り扱いについて

2021年2月24日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年12月）について
(2) 理事会報告

【議案】

- (1) 諸規程の制定及び改訂について
 (ア) 法人本部組織規程
(2) 2021年度入職式について
(3) 魅力発信チームについて
(4) 2021年度事業計画／予算ヒヤリング日程について
(5) 訪問看護ステーションの今後の事業展開について

2021年3月24日（水）開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年1月）について
(2) 理事会報告

【議案】

- (1) 諸規程の制定及び改訂について
 (ア) 法人組織規程
 (イ) 法人本部組織規程
(2) 2021年度会計責任者等の候補者について